

## 領外長逗留者にみる近世社会

——徳山毛利家文庫「御蔵本日記」を読む——

吉 積 久 年

### 序

筆者は、徳山毛利家文庫（徳山藩々政史料、当館架蔵）のうち元禄元年（一六八八）十一月から明治元年（一八六八）四月までの分が残る「御蔵本日記」一一六六冊を讀了した。その成果を、これまで拙いながら公表してきたところであり、無尽蔵ともいえる豊かな史料内容の中から、今回は他領（領外）者の長逗留に着目し、人及び物の往来から近世中後期の社会を窺ってみることにしたい。

他領者の長逗留については、宿請状の提出が課せられており、当該日記にはその提出の概要が割りにまめに書きとどめられている。それを抽出したのが後添の一覧表である。御覽のとおり安永二年（一七七三）から記載が本格化している。なお、極一部に領内（藩内）者の長逗留記事も認められる。

筆者にとって、この抽出作業は予想を超えるもので、遠来の多種多様な目的を持った長期逗留者がいたことを教えられ、近世中後期の社会を考える上で重要なことではないかと思うものである。

## 呉服商

この間、普遍的に現れるのが呉服屋である。安永二年以前にも、京都の難波屋・翁屋や柳井の島屋の逗留があり、呉服商人の早くからの領内活動が確認される。

呉服屋の出所地を窺ってみれば、京都が多いことが分かる。年を追って屋号を挙げれば、上記のほか灘屋(安永七年、寛政九年)・糸屋(天明五年、寛政五年)・赤多屋(寛政三年)・笹屋(寛政七年、享和元年)・永原屋(享和二年、また天保三年には「長原屋」と見えるものがある)・近江屋(文化六年)・菅田屋(文化十年)・胡屋(天保九年)・塩屋(天保十年)である。なお、文化七年十二月二十日の条では、京都の谷口弥四郎に対し徳山の町に呉服店を出店することについて、亀甲屋久兵衛の名で許可したことが見える。

この京都勢に対し、幕末期、頭角を現すのが萩藩領の三田尻・宮市(現防府市)勢と近江勢である。前者のうち、三田尻で糶屋(文政七年)・磯金(兼)屋(天保十、十二年)・塩屋(天保十年)・松屋(天保十一年、嘉永元年)・美野屋(天保十二年)・槌屋(安政六年)、宮市で小物屋(天保十四年)・岩田屋(弘化二年、嘉永元年)・福田屋(弘化二年と安政六年)である。

後者の近江では、橋爪村(現滋賀県五個荘町)の島屋(寛政五年)・布屋(天保十年、元治元年)・松屋(嘉永三年、万延元年)・木綿屋(安政六年、文久三年)・外村屋と小島屋(慶応二年)がある。

遠来の呉服屋としてほかに、大坂の布屋(寛政二年)・戎屋(天保十、十三年)、播磨高砂の松屋(文化七年)、但馬の綿屋(文化七年)、安芸能野村の布屋(天保四年)、徳島の木具屋(嘉永元年)がある。但馬からは、天保年間、綿貫商の茶碗屋も来ている。

岩国領では、岩国の米屋・金屋(安永二年)、柳井の島屋(宝暦七年と安政五年)・長谷屋(天保十年)があり、萩藩領でも、室積の大野屋(天保七年)、浅江の山田屋(天保十年)、高森の三原屋(安政五年)、山口の奈良屋(万延元年)がある。

以上のほか、寛政八年に甲斐郡内編(逗留二、三日)、文化二年には丹波紬(同五日)を売込む商人もやって来ている。

## 植木屋

次いで多いのが植木屋である。ただし、その初見は寛政元年(一七八九)のことであるが、嘉永元年(一八四八)を最後にその姿が見えなくなる。

最初は、安治川橋の正右衛門(寛政二年)、忠右衛門(寛政三、十二年)、八兵衛・五左衛門(寛政五年)の大坂勢であったものが、間もなく摂津の池田勢に入れ替わる。池田の木部村は、ボタンの栽培が盛んなところであった。与七(寛政十年、享和二年)、善七(文化二、八年)、伝七(文化四年、文政四年)、徳右衛門(文政八、九年)、伝右衛門(文政十年)、喜右衛門(同)、貞次郎(同)、喜多右衛門・貞次郎・弥三郎(同)、弥三郎(文政十、十二年)、平兵衛・弥助(天保三年)、孫助・平兵衛・伝七(天保四年)、平蔵・伝七(天保四、五年)、源兵衛(天保五年)、豊蔵・

儀兵衛（天保七年）、儀右衛門（天保八年）、庄兵衛・弥七・寅（虎）次（治）郎（天保九・十年）、虎次（二）郎（天保十二・十三年）、喜代藏（天保十年）、善右衛門（嘉永元年）などである。特に文政十年（一八二七）や天保五年（一八三四）は集中的で、ともに前後四回にも及んで、逗留期間は延べ約四〜五ヶ月にも達している。

文化・文政期には九州筑後の植木屋が現れる。久留米（竹野郡）の弥三郎（文化六年）、源作・九平（文化六・七年）、田主丸の嘉右衛門・庄助（文化七年）、元吉・大吉（文政四年）である。文化十一年二月十八日の記事には、田主丸の植木屋正助・嘉右衛門が藩の御用も請負って、徳山町内の明家を借りて、当分居住したとある。

以上のほか、寛政九年に広島平兵衛・安兵衛と徳山藩領下松西市の財布屋儀兵衛がいる。

## 医師

また多いのが医師の逗留である。

科目で最も多いのが眼科医（目医師）である。津和野藩安富村（現島根県益田市）の石川宗伯、上方行き途中、一七日間にわたる徳山での治療滞在（文化四年）。平生の河村玄岱は、文政二・五、六年に岡市（現下松市）に来、二ヶ月とほぼ一年の長期逗留を行い、さらに文政八年には、同地から河村南鳳も来てほぼ一年滞在している。<sup>3</sup>同じ文政十一年には、京都の田原昌玄が萩からの帰途、富海町で二〇日間滞在し、さらに翌年には筑前須恵の田原□貞<sup>4</sup>が五〇日間逗留している。天保四年には、京都の御室御所医・松川法橋夫婦が徳山に二〇日間滞在。文政八年九月二十八日の記事に、山田春庵なる人物が目医業稽古として富田古市にその年中逗留するともある。

遠来者として、甲府の長田徳寿とその弟子・若林秀意がいる（文化元年）。「此内於江戸懇意」との到来の断りが簡単に記されており、逗留は一ヶ月。そのほか京都の平岡民部（天保九年）、長崎の栗崎道善（寛政七年、江戸よりの帰途、逗留は一〇〇日余り）・奈良林大之進（天保十年、江戸よりの帰途）、芸州の中西玄瑞（文化十四年）、広島佐久間玄徳（文政十二年）がある。文化六年二月五日の条には、広島領の医師戸田仁積が徳山の借宅を立ち去ったとの記述も見える。

萩の栗山玄厚の門弟杉山昌玄は、寛政五年、遠石町に当初一ヶ月滞在のところ前後二回にわたり各一〇〇日、計二〇〇日も逗留延長をしている。小郡からは口中医師の水干定八が来ている（寛政十年）。

また、医業修行のために来徳した医師もいる。備中笠岡の守谷意誓は増野文伯・杉山玄楊のもとで（寛政八年、逗留四〇日）、三田尻の築留の藤本寿仙は一家三人で（文政十一年、逗留二〇〇日）、豊後府内の町医師松本玄良は富田新町の石津周節のもとで（文政四年）、長崎の猪俣瑞英は複数で松岡玄知のもとで（天保十二年、逗留およそ二〇日）。鍼療修行に下松に来たのは綱干（現兵庫県）の羽黒左近である（文政二年、逗留一〇〇日）。

さらに、病氣療養に来た者もあり、それは当地に名高い医師がいたことを示していることになる。文政元〜二年、三田尻と鹿野<sup>かの</sup>（現周南市）からやって来た逗留者は、徳山の多々良梅枝方での痔治療が目的である（約二ヶ月と約五〇日の逗留）。同じ治療を目的に萩藩家臣が文政二年（逗留十数日）、平生からも同十一年来徳してもいる（逗留六〇日）。文政六年には、病名は不明であるが、広瀬（現岩国市）から二名が逗留半月の治療に来てもいる。

## 絵師

絵師の往来も目に付く。

寛政十一年に二件。三月に三田尻の堀富勇が経師の茂兵衛とともに、先月までの予定の細工が不調として三月いっぱい滞留するというもの。四月には「当町（徳山）頼之絵」ありとして、広島から茂領という絵師が弟子とその妻を伴って一〇日余り逗留。

年を追って列記する。福山の有光吉平が二〇日ほど（享和二年）、下関の平吉が注文の絵があるとして表具師万吉を伴い七日ほど（文化五年）、鳥羽の中部九臯が「当所近辺頼画有之」として弟子一人を連れて一月余り（文化十四年）、京都の節山は「画業為修業」として半月余り（文政元年）、徳島の森桃江も連れを伴い「画道修行」として一〇日余り（文政八年）、大坂の中西寿平は「為画修行九州下向之処於当所用向有之」として一月余り（天保十一年）、同じ大坂の藤田柑谷は「当所江絵事修行」として半月余り（嘉永元年）、それぞれ滞在中に在る。なお、京都の節山と徳島の森桃江の修行先についてであるが、当時、徳山には御用絵師朝倉南陵（天保十四年没、享年八十八）がいた。

以上のほか、文化十年には江戸浅草の「葉画師」哥川源兵衛が詠えものを制作するため、先ず遠石で逗留三〇日間の届けを出したが、おおよそ一月後、詠えものの過半がまだ滞るとともに煙草入れや吉原合羽などの細工もできるために、さらに一月近く逗留延期の届けをしている。

## 売薬

売薬といえば、越中富山の名が浮かぶ。この富山の売薬商の徳山領内での動きは、文化四年（一八〇七）の溝口屋治右衛門の「諸国越中富山売薬商人等も入込不申様願出候」との陳情に対する藩府の判断辺りで察知される。藩はこれを聞き入れなかったが、「売薬之もの共不及願出、猥御領入込売買候而は被差留候」との注意を怠らなかった（十一月四日の条）。同年同月には、松井屋文右衛門ほか計九名が、「数代当国江製薬持下り御領内店屋中取次相頼候而売込仕来申候、六拾ヶ年程以前迄右之内式軒御当国へ罷下り売弘メ仕候」との断りをもって、領内での薬売りを願い出、認可されている（十一月二十九日の条）。この断りを見るに、六〇年以前から入り込んでいることが分かる。

六〇年前というとき、寛延二年（一七四九）二月十四日の記事が物を言うかも知れない。毎年参るものとして柳井の「とくや十之允」上下六人の合業商が、下関方面へ下向の途中、徳山に二、三日滞在中との記述である。

年を追って、売薬商の記事を拾っていくと、安永六年と七年に備中倉敷の大橋永治、同九年に長崎平戸町の善介ら、天明元年に京都祇園町の観学屋大八の手代、同六年に豊後竹田下町商人の藤三郎夫婦らが二月に出国し「薬師為売商い」諸国徘徊のところ来徳している。

寛政十二年四月二十七日の記事に、偽薬売りの無宿人が萩領で追放された者であることが判明したため領外追放の処断をした旨が見えたりする。このように偽薬売りが徘徊しているということは、薬への需要がいかに高かったかを示している。

それが、売薬の商圏争いを苛烈にしたともいえる。文化六年五月十日の条に、藩府に対し富山の薬屋中から桐箱に納められた熊皮二枚が献上されたことが記されている。

天保元年には、三田尻の製薬師岡田慶蔵が製薬指南にやって来たこともわかる。

長門の伊佐売薬のことは、<sup>5)</sup>当日記では漸く元治元年に現れる。家中出入りの証として免札が下されたとの記事である(十一月十九日の条)。同年から翌慶応元年にかけては、広島、いわゆる富山の売薬商の記事が集中的に見られる。慶応元年には、呼坂(現周南市)の河内屋が先年から御医師中への薬種卸売りを働いており、家中通路の免札を得たとの記事が見える。

### 鑄掛屋

寛政八年の萩領島田(現光市、逗留二〇日間)を初見として、文政十二年まで、各地の鑄掛屋の滞在が認められる。柳井(寛政十二年、逗留一〇日間)、萩の白金屋(文化八年、逗留期間不詳)、向島(現防府市、文政四・五年、逗留七日間と一〇日間)、馬島(現田布施町、文政四年に二回、逗留六日間と二〇日間)、文政十年から十二年までは豊前小倉から毎年来たり(逗留は七日から四〇日間)、文政十一・十二年には三田尻から夫婦連れが来ている(逗留は不詳と二〇日間)。三田尻の夫婦の場合、文政十一年時には、徳山の鑄掛師善助方での稽古修業が目的でやって来て、滞在が当初より一〇日延長されている。

### 伊勢型紙

文化九年で記述が消えるが、それまで毎年来ていたと考えられるものに伊勢型紙商人がいる。白子町(現鈴鹿市)の形屋がそれで、すでに安永二年の段階で「毎年商売に参」と記述される。安永二年逗留三日間、同七年同一〇日間、天明元年(逗留期間不明)、同四年逗留四〜五日間、同六年同一〇日間、寛政三年同一〇日間、同十年同一〇日間、同十一年同八日間、文化元年同一〇日間、同二年同一〇日間、そして同九年同三日間である。

### その他

ここでは、留意しておきたい、筆者の目に付いた逗留者について簡単に書きとめておく。

伊勢大神宮をはじめ出雲大社、尾張中島社という著名な神社の旦那廻りが継続的に行われている。文政十二年には、京都から陰陽道、豊後大野郡から易道の各執行者が、弘化二年には岩国領大島浦(現柳井市)から古い渡世者が(逗留二〇日間ほど)、それぞれ来ている。また、寛政二年には、小倉から神学修行に来た者もある。

京都の仏師又兵衛とその弟子多蔵の約五ヶ月にわたる宿請状が出されたのは天明八年のこと。仏像制作の場所などは記されていないが、後日談として宿請け方が断りもなく仏師を抱え込んだとして逼塞の処罰を受け、仏師には退去命令がくだされており(寛政元年十二月十八日の記事)、一年有余にもわたる滞在であったことになる。また、計二二

回も延長を繰返し、およそ九ヶ月も逗留した者に、赤間関の仏具古道具商いの久宝寺屋善兵衛がいる (嘉永三年)。

比較的早くから経年的にやって来ていたものに阿波藍玉商がいる (寛政元年・天保八年・嘉永三年) が、遡る享保十九年 (一七三四) 九月二十三日の記事によると、阿波藍玉商が、安芸・周防・長門の紺屋一五一人が売掛銀二貫余を滞納していることを江戸へ直訴するという事件が発生している。徳山領関係者は一〇人で、滞銀は二貫余であった。

煎餅や菓子類を売る人々もあった。安永三年に室積 (現光市) から生菓子師が逗留三ヶ月近く、文化十年と文政二年に大坂から二組の煎餅屋夫婦が逗留五〇日間と二〇日間、文政十年には倉敷から菓子職指南が逗留二ヶ月、さらに天保十年に長門豊田西市 (現下関市) から菓子飴類製法指南が来ている。

天明期には、「古手」物の商人の来徳が目につく。遡る寛政八年には大坂から書物販売にあわせ古本買入れ、文化元年には但馬から古綿買入れの各商人が、また古道具や古手反物を扱う商人の存在も目に入る。文化二年には、撰津花隈村 (現神戸市) から酒造杜氏もやって来ている。

以下、目についたものを年代順に列挙してみる。安永二年に大坂から筆墨商 (天明五年には奈良から墨商が)、安永四年に広島から紅粉屋 (寛政十一年には京都からも)、天明元年には厳島から謡指南者、天明六年には大坂から書物商、享和元年には大坂から土焼き人形類商 (文化四年には京都からも)、同年には広島から入れ歯細工もやる目鑑屋 (入れ歯細工は、文化十一年西宮と文政十年京都からも)、享和二年大坂から大工道具・農具商、文化元年には但馬から古綿買入れ・糞売り商、文化四年京都から扇商、文化五・六年には寺香売りが京都・大坂から、文化十年広島から金魚売、文政二年には大坂から行灯類商、文政十年から大坂・赤穂・加賀より箆細工、天保十年から近江より蚊帳小売、天保

十四年には出雲木次村から稲扱ぎ売りが、弘化元年に近江愛知郡吉田村 (現滋賀県豊郷町) から仏具類商がそれぞれ来ている。

周防・長門両国からの来徳者で目についたものを拾ってみる。安永から天明にかけて毎年のように来ていたのが、萩の矢師で、ほとんど八月に来ていたところを観ると、遠石八幡宮の祭市 (八月十五日から同月末まで) が目的であったようである。同じ頃、佐野 (現防府市) からは坪屋 (佐野焼) が盛んに来ていた。安永九年には四回、天明四年には二回も来ている。焼物関係では、安永六年、長門深川 (三ノ瀬窯) から茶碗売りが来ていることが窺われる。安永六・七年には仙崎 (現長門市) から鯨油売りが来ている。天明三年に下関から線香師が二回来、寛政七年から文化二年まで岩国から毎年のように胡麻買入れ人が来ている。文化五年には江口開作塩浜に、大島郡小松村から三人の出稼ぎ者が見られるが、遡る文化元年十月晦日の条に、五つの宿に西浦 (現防府市) 三三人、中関 (同) 四人、上関一人、安芸瀬戸田三人、同埤村五人、同不明二人の計四七人の出稼ぎ者が分宿していることが記されている。古本屋が下関から来たのは文化二年のこと。毛氈の取締いが、寛政十年に防府宮市から、文化五年に同じ中関から、それぞれ来ている。そして、文政三年には、長府領形山村 (現下関市) の栄長寺の弟子得心夫婦が、紙漉き巧者として「四枚すりの紙漉せ見申度」、徳山藩第一の紙漉き産地である須万村に四〜五日逗留している。天保十二年には萩から内山俊藏なる人物が子供の算術指南にやって来ている (逗留一ヶ月近く)。天保十二年から弘化四年にかけては埴生 (現山陽小野田市) から鏡磨師長府屋が来ている (逗留は一ヶ月前後)。

幕末期に目立つのが武器・武具商いであり、堺の鉄炮師藍谷が弘化三年と嘉永三年に来徳しているし、嘉永三年には江戸から刀鍛冶稽古に来た者もいる。

## 事件二題

締めくくるに当り、二つの事件のことを紹介しておきたいと思う。

まず、文化元年十一月二十日の記事。徳山の西浜崎町の石工・和泉屋吉兵衛とその手間和泉屋安次郎が、この年春、豊前領小倉での石橋工事について、沖島（野島〔現防府市〕の北側）の石を使う請負をしたとして閉戸の裁断をしたという。さらに、同三年十二月四日には、石工株及び石場の取上げと逼塞の裁断を下したとある。ただし、逼塞は同じ月の十一日には解かれている。このように、逆に他領へ出向く者もいたことは自明である。

当該日記に、出領者の記事も散見されるが、入領者より明らかに少ないし、たとえ記述されていてもその目的を明記したものが少ないため、今回紹介することを慎んだことを断っておきたい。

もうひとつが、天保十年十二月十四日の条。この暁の八時半時、徳山の旅人宿柏屋清七方で火事が発生、焼失させた。このとき、宿泊していた旅人九人について、凶らずも素性が記録されることになった。長崎町人林田武兵衛は出雲松江の藩札三貫八〇目と金一七、八兩などを、戸田市（萩藩領、現周南市）の宮市屋幸七は反物類の帳面をそれぞれ所持し、宮市の亀蔵は京都腰物商人、平丘（現市町村不詳）の東助と武助は下方からの帰途、京都の長兵衛は萩へ商いの途中、三田尻の磯兼屋宗左衛門・塩屋文左衛門・大竹屋新助は呉服商であった。なお、柏屋清七の旅人宿は、一覧表でも確かめられるように間をおかず稼動し続けていることがわかり、火災の程度が偲ばれる。また、この天保期は、他の時期とは異なり旅人宿として柏屋が集中的に利用されていたことも窺える。

ちなみに、旅人宿で死んだ者の話もある。安政元年正月二十日の記事に、京都の備後屋治助が昨十二月以来病に臥せていたところ、三十六歳で身罷ったという。

## 註

- (1) 「元禄期の徳山藩―『御蔵本日記』を読む―」（山口県地方史研究第62号、平成元年）から近著「小藩における社会統計の試み―周防徳山藩『御蔵本日記』を読む―」（山口県文書館研究紀要第34号、平成十九年）まで一二本を公にしている。
- (2) 寛文八年五月の条々の一条に次のようにある。

「一町在郷共に旅人一宿之儀は不苦、若無故逗留及二宿は其頭々江申達所務代町奉行より相究之於無紛は免許之上可置之事」（徳山毛利家文庫・御制法14「町方御法度」ほか）

一覧表に見るとおり、当該日記に記載されているのは数日以上の長期逗留者であることがわかる。

- (3) 河村玄岱については、文政二・五年とも、日記の記述は「大島郡平生（尾）」とある。が、文政八年の河村南鳳については、「上関宰判平生」と記述され、大島郡に「平生」の地名が見出せないこと、宿が両者に共通することも考えると、南

鳳の記述が正しいと判断されるため、熊毛郡上関宰判の平生と解釈することにした。

- (4) 筑前須恵の眼科医田原家は、当時旅宿が設けられるほど全国から患者が蟬集する繁盛振りを示した。『須恵町誌』（昭和五十八年）の田原家系図によると、「□貞」に相当する人物は見当たらない。

なお、須恵の田原家を含む目医師については、別稿を用意するつもりである。

- (5) 伊佐売薬は、近世以前にまで遡るとの伝承を持ち、近世中期には関東まで商いに出かけていた記録もあって、当地方では越中富山に対抗し得る位置にあったことがあり、『美祿市史』（昭和五十七年）や『伊佐の売薬用具』（平成五年、美祿市教育委員会）などに詳しい。また、美祿市が所有するその用具や関係資料二〇九八点は、山口県指定有形民俗文化財である（平成十一年指定）。

売薬の商圏争いについては、土屋貞夫「伊佐売薬の他国領内での売薬について」〔『みねぶんか』第33号、平成十四年〕などに詳しい。

(6) 佐野焼は、『防府市史通史II近世』（平成十一年）などに

よると、起源は相当古い伝承を持っているようであるが、近世においては、壺を中心に生産され、これ専用の廻船が備えられるなど諸地方へかなり積み出されていた。

一覧表を見るに当たっての留意書

- ①年月日は、日記の記述日である。
- ②月に○印が付されたものは、閏月を示す。
- ③長逗留者名の欄には、出国先をより詳しく補ったところもある。
- ④逗留先で「当町」とあるのは、城下徳山町のことである。
- ⑤表記は、原文を尊重し、推測での補記などは慎んだ。

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
延享4.3.17	大坂(大阪)	金屋孫兵衛手代平兵衛	大工道具売	富田新町 善作	15日
寛延2.2.14	柳井(山口)	とくや十之允(6)	合業商(下関へ下る途中)	徳山	2~3日
宝暦元.4.25	奈良(奈良)	岩井吉左衛門		越中屋治兵衛	?
宝暦元.6.25	京都(京都)	難波屋長兵衛(2)	呉服商売	徳山町 高橋作右衛門	5~6日
宝暦7.9.27	柳井(山口)	島屋小左衛門	呉服物売	(徳山「御家中へもかつき売り」)	13日
宝暦10.12.4	京都(京都)	堺町 翁屋宗兵衛	呉服商売	金屋吉右衛門	?
宝暦11.6.11	大坂(大阪)	橋磨屋宇兵衛	小間物商	徳山町 石田屋忠七	4~5日
"	京都(京都)	堺町 翁屋宗兵衛	呉服商売	金屋吉右衛門	?
安永2.2.10	宮市(山口)	駕屋太郎左衛門	(商売)	徳山新町 金右衛門	5日
安永2.2.27	岩国(山口)	岩屋五兵衛	小間物商	鍵屋新左衛門	?
"	岩国(山口)	米屋権兵衛・金屋八兵衛	反物売	布袋屋弥三右衛門	?
安永2.4.6	伊勢(三重)	白子 形屋和(倭)助	(「毎年商売に参」)	徳山東町 浅田屋治兵衛	4/10頃迄
安永2.5.15	大坂(大阪)	丹波屋平兵衛・岡屋喜兵衛	小間物商	徳山本町 布袋屋弥三右衛門	?
安永2.5.晦	大坂(大阪)	平野町 八幡屋吉兵衛	筆墨売買(毎年参る)	徳山本町 布袋屋弥三右衛門	来月中
安永2.6.10	宮市(山口)	駕屋太郎左衛門	売買	徳山新町 金右衛門	10月迄
安永2.6.11	広島(広島)	角屋久兵衛・間屋助五郎	(商売、毎年参る)	徳山枝町 磯村屋善五郎	7日
安永2.8.朔	柳井(山口)	島屋平兵衛	(商売)	徳山寺町 増屋金右衛門	25日
安永2.11.26	宮市(山口)	駕屋太郎左衛門	売買	徳山新町 金右衛門	年内
安永3.正.13	大坂(大阪)	平野町 八幡屋吉兵衛	筆墨売買	徳山本町 布袋屋彦七	当月中
安永3.5.9	柳井(山口) 広島(広島)	新庄屋喜右衛門 角田屋藤助	買物見合	徳山新町 磯村屋善五郎	7日
安永3.5.24	室積(山口)	生菓子師佐弥七		鳥井町 徳兵衛	7月中
安永3.8.4	室積(山口)	生菓子師佐弥七		鳥井町 徳兵衛	8/10迄
安永3.11.朔	大坂(大阪)	江戸堀一丁目 堺屋又兵衛		東船町 藤屋市左衛門	20日
安永3.12.6	大坂(大阪)	八幡屋吉兵衛	筆墨商売	布袋屋又兵衛	当月中
安永4.6.26	萩(山口)	矢師二階吉左衛門		佐渡屋源助	7/5迄
安永4.8.26	広島(広島)	紅粉屋三右衛門	(商売)	佐渡屋源助	9/5迄
安永4.10.朔	岩国(山口)	松金屋平六	買物	米屋茂兵衛	10/7迄
安永6.正.14	大坂(大阪)	堺屋又兵衛手先の堺屋五助・大和屋吉兵衛		佐渡屋源助	4~5日
安永6.4.朔	倉敷(岡山)	売薬師大橋永治・伴・下人		?	(今日出立)
安永6.8.4	萩(山口)	矢師二階吉左衛門	詔矢持参	佐渡屋源助	8/20頃迄
安永6.8.8	深川(山口)	清助・万助・三六	茶碗売	佐渡屋源助	8/20頃迄
安永6.8.11	仙崎(山口)	油屋九郎左衛門	鯨油商売	佐渡屋源助	6~7日
安永7.正.23	赤間関(山口)	(酔作り1人)		船町 友沢太七	(昨夜より滞留)
安永7.3.20	倉敷(岡山)	大橋永治	薬売	徳山町 椎木屋藤十郎	6日
安永7.4.17	大坂(大阪)	間屋河内屋利兵衛		徳山本町 椎木屋藤十郎	15日
安永7.4.18	佐野村(山口)	坪屋孫七		東船町 善右衛門	当月中
安永7.7.24	伊勢(三重)	伊勢形売利助		徳山町 浅田屋治兵衛	10日
安永7.8.2	萩(山口)	矢師二階吉左衛門		佐渡屋源介	今月中
安永7.8.11	仙崎(山口)	鯨油売九郎兵衛		本町 佐渡屋源助	8/10~20頃
安永7.10.朔	京都(京都)	灘屋大兵衛	呉服物商売	平野屋治右衛門	15日
安永8.6.4	大坂(大阪)	形売り伝兵衛		佐渡屋源助	10日
安永8.8.10	萩(山口)	矢師吉左衛門		徳山町 佐渡屋源助	15日



年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
天明4.12.22	佐野(山口)	坪屋藤左衛門		東船町 金右衛門	当月中
天明5.4.28	京都(京都)	間屋糸屋惣兵衛手代左兵衛・喜兵衛		村尾半右衛門	来月中
天明5.8.13	京都(京都)	間屋糸屋惣兵衛手代佐兵衛	掛方取立	村尾半右衛門	8/20迄
天明5.9.9	奈良(奈良)	墨屋高利介・手代	旦那廻り(例年のこと)	笠屋茂左衛門	4~5日
天明5.9.25	京都(京都)	灘屋大兵衛(2)	呉服商売	富田屋清兵衛	10月中
天明5.10.5	大坂(大阪)	筆屋久兵衛・庄兵衛	商売	重岡屋金七	10/3~5
天明6.3.18	京都(京都)	灘屋喜兵衛		富田屋清兵衛	4月下旬迄
天明6.4.4	大坂(大阪)	書物屋奈良屋善兵衛		下村屋利七	30日
天明6.4.6	京都(京都)	間屋糸屋惣兵衛手代左兵衛	旦那廻り	村尾半右衛門	4/20迄
天明6.7.28	赤間関(山口)	加賀屋与次右衛門	掛方あり	広島屋孫右衛門(宿替え)佐渡丁 弥右衛門	8月中頃迄
天明6.8.5	萩(山口)	矢師二階吉左衛門	「爰許詭之矢持参」	当町 亀屋八右衛門	8月中
天明6.9.24	伊勢(三重)	形屋儀助		浅田屋治兵衛	10日
天明6.9.26	京都(京都)	呉服屋灘屋太兵衛(2)		富田屋清兵衛	来月中頃迄
天明6.11.25	京都(京都)	灘屋惣兵衛手代左兵衛	掛方取立	当町 村尾半右衛門	来月中
天明7.3.23	京都(京都)	灘屋太兵衛(2)	呉服商売	本町 富田屋清兵衛	4月頃迄
天明7.4.2	大坂(大阪)	南久宝寺町 奈良屋善兵衛	書物商売古本買入	下村屋利七	20日
天明7.4.14	京都(京都)	間屋糸屋惣兵衛手代(2)	旦那廻り	当町 村尾半右衛門	当月中
天明7.8.13	京都(京都)	間屋糸屋宗兵衛手代	掛方取立	村尾半右衛門	今月中
天明7.9.19	京都(京都)	灘屋太兵衛(3)	呉服商売	富田屋清兵衛	当月中
天明8.10.4	京都(京都)	仏師又兵衛・弟子多藏		山田屋直右衛門	3月頃迄
寛政元.5.19	阿波(徳島)	大和屋庄兵衛	阿波藍売り	笠屋茂左衛門	10日
寛政元.9.13	京都(京都)	呉服物商売 灘屋太兵衛(3)		富田屋清兵衛	当月下旬迄
寛政2.3.24	京都(京都)	灘屋九兵衛(2)	呉服商売	富田屋清兵衛	4月上旬迄
寛政2.3.29	小倉(福岡)	社家大森身濯	神学修行	黒神若狭	10日
寛政2.5.29	大坂(大阪)	布屋佐兵衛(2)	反物商売	新町 萬屋伊右衛門	6/4迄(6/6出足)
寛政2.9.20	京都(京都)	灘屋太兵衛(3)	呉服商売	桃町 富田屋清兵衛	来月中旬迄
寛政2.10.27	大坂(大阪)	阿地川橋 植木屋正右衛門	杉苗其外植木類売	磯村彦七	11月中旬頃迄
寛政2.12.朔	京都(京都)	呉服屋糸屋惣兵衛	旦那廻り	村尾半右衛門	当月中
寛政2.12.11	伊勢(三重)	林周助大夫手代井田東之進(2)	旦那廻り	富田新町 西田屋彦七	?
寛政3.正.14	大坂(大阪)	間屋錠屋利兵衛	旦那廻り	村尾半右衛門	?
寛政3.3.5	大坂(大阪)	阿地川橋 植木屋忠右衛門	植木杉苗類売	磯村彦七	4/20迄
寛政3.3.11	京都(京都)	赤多屋九兵衛	呉服物商売	富田屋清兵衛	?
寛政3.8.11	伊勢(三重)	白子町 形屋千蔵		浅田屋治兵衛	10日
寛政3.8.14	京都(京都)	糸屋惣兵衛手代金兵衛		村尾半右衛門	9月上旬迄
寛政3.8.14	萩(山口)	新堀 金具細工人竹原金右衛門		桃町 油屋弥右衛門	当年中
寛政3.11.11	大坂(大阪)	阿知川橋/植木屋忠右衛門	杉苗類植木売弘め	?	?
寛政4.②.11	大坂(大阪)	阿知川 植木屋忠右衛門	杉苗類売弘め	油屋町 辻屋栄蔵	来月中
寛政4.3.7	京都(京都)	灘屋九兵衛		当町 富田屋清兵衛	4月上旬迄
寛政4.7.10	京都(京都)	間屋糸屋惣兵衛手代金兵衛	旦那廻り	村尾半右衛門	今月中
寛政4.9.14	京都(京都)	灘屋九兵衛	呉服商売	富田屋清兵衛	当月下旬迄
寛政4.11.20	京都(京都)	糸屋宇兵衛・手代金兵衛	旦那廻り	村尾半右衛門	来月中
寛政4.12.11	伊勢(三重)	林周助大夫手代井田東之進	旦那廻り	富田新町 西園屋彦七	来月中

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
安永9.3.5	長崎(長崎)	平戸町 売薬師善介・源蔵・荷持		徳山町 布袋屋又兵衛	3/10頃迄
安永9.3.13	岩国(山口)	鍋屋源四郎	古手脇差小道具類商売	徳山新町 田中屋伊兵衛	20日
安永9.3.23	岩国(山口)	坪屋利右衛門	古道具売買	本町 佐渡屋源介	4/5頃迄
安永9.4.4	佐野村(山口)	坪屋清左衛門		東船町 善右衛門	10日
安永9.4.23	佐野村(山口)	坪屋清左衛門		東船町 善右衛門	今月中
安永9.6.16	岩国(山口)	鍋屋源四郎	古手商売	本町 磯村屋彦七	6/20頃迄
安永9.6.28	萩(山口)	山中彦右衛門	米商売	新町 重岡屋弥七	10日
安永9.9.17	佐野村(山口)	坪屋清左衛門		東船町 善右衛門	当月中
天明元.4.15	広島(広島)	松河町 久治・秋助	乗馬持参	徳山本町 風呂屋与八	4/20頃迄
天明元.⑤.21	佐野(山口)	坪屋三右衛門		東船町 善右衛門	当月中
天明元.⑤.23	岩国(山口)	鍋屋源右衛門	商売	吉屋丁 田辺屋幸之助	20日
天明元.7.19	京都(京都)	祇園町 親学屋大八内手代奈良助ほか(3)	薬売	布袋屋又兵衛	7/22・23頃迄
天明元.7.25	伊勢(三重)	形屋	商売	浅田屋治兵衛	?
天明元.8.11	萩(山口)	矢師二階吉左衛門		本町 佐渡屋源助	8/20頃迄
天明元.9.朔	萩(山口)	新堀 大小柄巻師近藤屋藤七		徳山本町 磯村屋彦七	9/14・15迄
天明元.9.19	大坂(大阪)	博勞町 和泉屋喜兵衛	小間物商売	本町 布袋屋又兵衛	9/22・23頃迄
天明元.10.18	萩(山口)	新堀 竹屋彦右衛門・金具屋宮松・坪屋茂右衛門	刀脇差調	磯村屋彦七	10月中頃迄(12月下旬まで延長)
天明元.11.4	岩国(山口)	鍋屋源右衛門		新町 田辺屋幸之介	30日
天明元.11.24	萩(山口)	新堀 組工人近藤屋藤七		本町 磯村屋彦七	来月下旬迄
天明2.4.25	岩国(山口)	鍋屋源右衛門	古手小道具商売	?	30日
天明2.8.11	萩(山口)	矢師二階吉左衛門		佐渡屋源助	当分
天明3.正.25	下関(山口)	線香師長蔵・伊八		深江屋三郎兵衛	?
天明3.4.21	岩国(山口)	新堀 近藤屋藤七・ぬし屋吉右衛門・まつ屋嘉兵衛・金具屋宮松		磯村屋彦七	?
天明3.7.11	下関(山口)	鍋屋源右衛門	古手小道具商	?	40日
天明3.8.11	萩(山口)	新堀 贈屋嘉平次・ぬし屋吉右衛門・近藤屋藤七・金具屋宮松		磯村屋彦七	?
天明3.8.11	萩(山口)	矢師二階吉左衛門		当町 泉屋八右衛門	6~7日
天明3.9.4	岩国(山口)	鍋屋源右衛門	古手小道具商売	?	?
天明3.9.29	京都(京都)	灘屋太兵衛		?	?
天明3.11.9	?	鍋屋藤介手代忠助		徳山町	10日
天明4.2.25	京都(京都)	灘屋太兵衛	呉服物商売	?	?
天明4.3.24	萩(山口)	萩細工人(4)	商売	磯村屋彦市	?
天明4.7.29	佐野(山口)	坪屋藤左衛門		東船町	10日
天明4.8.7	萩(山口)	矢師二階吉左衛門		当町 花屋八右衛門	10日
天明4.9.14	岩国(山口)	鍋屋源四郎	古手商売	徳山枝町 若狭屋新右衛門	当年中
天明4.9.22	?	旅医師山本守輔	(九州辺から廻国)	五智輪坊	祭市中
天明4.10.21	伊勢(三重)	白子町 形屋口吉		?	4~5日
天明4.12.14	伊勢(三重)	林大夫手代井田東之進		富田新町	?

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
寛政10.8.26	京都(京都)	笹屋喜兵衛手代(2)	呉服商売	佐渡屋平左衛門	9月中
寛政10.8.28	岩国(山口)	松金屋又三郎手代	胡麻買	萬屋茂右衛門	8/27~9/15
寛政10.9.27	小郡(山口)	口中医師水干定八	当所近迎療治	戎屋甚右衛門	10月上旬迄
寛政10.11.3	池田(大阪)	植木屋与七	「当所近迎談之苗もの積下り」	本町 植屋栄藏	12/10頃迄
寛政10.11.5	京都(京都)	紅粉屋市兵衛・清兵衛	「当所近在望之紅粉持下り」	鶴屋新四郎	今月中
寛政11.3.2	三田尻(山口)	絵師堀富勇・経師茂兵衛	?	?	先月中迄のところ細工不調に付当月中延長
寛政11.3.2	京都(京都)	笹屋平兵衛	私方取立	?	先月中迄のところ不調に付3/25迄延長
寛政11.3.5	池田(大阪)	植木屋与七	例年苗物持ち	植屋栄藏	4/20頃迄
寛政11.4.9	広島(広島)	絵師茂領・弟子ほか	「当町頼之絵」	本町 小笠屋茂左衛門	4/20頃迄
寛政11.8.17	伊勢(三重)	白子町 形屋千蔵		浅田屋治平	8/25頃迄
寛政11.9.20	京都(京都)	笹屋藤兵衛・久兵衛	呉服商売	幸町 佐渡屋平左衛門	10月中
寛政11.11.6	池田(大阪)	植木屋与七	当所其外近迎杉苗類売方	植屋栄藏	12/5迄
寛政11.11.15	大坂(大阪)	阿治川 植木屋忠右衛門	「当所談之杉松木苗売弘」	椎木屋藤十郎	12月下旬迄
寛政12.2.24	京都(京都)	笹屋藤兵衛・久兵衛	呉服商売	当町 佐渡屋平左衛門	3月中
寛政12.3.18	大坂(大阪)	安治川 植木屋忠右衛門	苗物売弘	椎木屋藤十郎	④月中旬迄
寛政12.5.23	京都(京都)	笹屋藤兵衛手代利兵衛(2)	呉服商売	佐渡屋平左衛門	6月中旬迄
寛政12.9.22	京都(京都)	笹屋藤兵衛・利兵衛	呉服商売	佐渡屋平左衛門	10月迄
寛政12.9.27	尾張(愛知)	中島社人久野左近(2)	旦那廻り	椎木屋藤十郎	10/5迄
寛政12.10.11	池田(大阪)	植木屋与七	苗物類売弘	本町 植屋栄藏	12月中旬迄
寛政12.11.22	柳井(山口)	掛掛屋	商売	川口屋市平	10日
享和元.5.18	大坂(大阪)	奈良屋町 丹後屋和吉	土焼人形類売弘め	植屋栄藏	5/17~25
享和元.8.12	広島(広島)	千原六蔵	乗馬商売	?	8/20頃迄
享和元.8.25	小郡(山口)	新町 小島屋文七・西村屋次郎吉	胡麻買入	山田屋清藏	8/23~9月中旬
享和元.11.17	池田(大阪)	植木屋与七	誂苗物類	植屋栄藏	当年中
享和元.12.4	広島(広島)	目鑑屋源藏	目鑑商い・入歯細工	椎木屋藤十郎	当月中旬迄
〃	京都(京都)	笹屋藤兵衛		小笠屋茂左衛門	当月中旬迄
享和元.12.7	大坂(大阪)	順慶町 綿屋安兵衛	糸物類商売	諫多屋勝左衛門	当月中旬迄
享和2.2.23	池田(大阪)	植木屋与七	苗物商売	植屋栄藏	4月中旬迄
享和2.4.朔	福山(広島)	絵師有光吉平		鶴屋新四郎	4/20頃迄
享和2.4.19	大坂(大阪)	順慶町 綿屋安兵衛	糸物類商売得意先回り	諫多屋勝左衛門	今月下旬迄
享和2.5.7	大坂(大阪)	金星六兵衛手代用助	大工道具農具等売弘(例年遠江祭市参る)	富田屋九兵衛	当月中
享和2.7.23	京都(京都)	呉服商永原屋弥七	掛方取立	諫多屋勝左衛門	?
享和2.9.7	岩国(山口)	松金屋又三郎手代	胡麻買	徳山新町 万屋茂右衛門	9/25迄
享和2.10.28	池田(大阪)	植木屋与七	苗物持下り	油屋丁 植屋栄藏	12月下旬迄

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
寛政5.2.17	萩(山口)	栗山玄厚門弟杉山楊玄	遠石町療治掛り	矢野屋治右衛門	30日
寛政5.3.10	京都(京都)	灘屋九兵衛	呉服物商売	富田屋清兵衛	4月上旬迄
寛政5.3.19	萩(山口)	栗山玄厚弟子杉山楊玄	眼病療治懸り	遠石町 矢野屋治右衛門	100日(→7/4今100日延長)
寛政5.5.朔	京都(京都)	糸屋惣兵衛手代金兵衛	懸方取立	村尾半右衛門	今月中頃迄
寛政5.6.3	近江(滋賀)	神崎郡橋爪村 島屋左兵衛(2)	反物商売	徳山新町 萬屋久右衛門	10日
寛政5.9.朔	岩国(山口)	豆腐屋丁 丸屋市右衛門	車差商売	新町 栴屋市左衛門	今月中
寛政5.9.19	京都(京都)	灘屋九兵衛	呉服商売	富田屋清兵衛	10月上旬頃迄
寛政5.9.28	大坂(大阪)	植木屋八兵衛	杉苗積下	徳山本町 磯村屋伊左衛門	10月中
寛政5.11.7	大坂(大阪)	植木屋八兵衛・五左衛門	苗物商売	徳山本町 磯村屋伊左衛門	当月中
寛政6.3.23	京都(京都)	灘屋九兵衛	呉服商売	富田屋佐兵衛	4月下旬迄
寛政6.11.23	大坂(大阪)	安知川 植木屋忠右衛門	当所近在誂商物類積下	油屋町 植屋栄藏	極月上旬迄
寛政7.7.13	長崎(長崎)	医師栗崎道善(家内4)	江戸より帰途、療養依頼	重岡屋金七(7/19)寺町 増屋金左衛門	10日 100日
寛政7.9.6	岩国(山口)	松金屋又三郎手代	胡麻買	徳山新町 萬屋茂右衛門	9/4~20
寛政7.9.11	京都(京都)	笹屋喜兵衛手代藤兵衛	呉服商売旦那廻り	徳山町 佐渡屋茂右衛門	今月中
寛政7.12.8	伊勢(三重)	林周防大夫手代井田助六(2)	旦那廻り	富田新町 西国屋彦七	?
寛政8.2.18	島田(山口)	鑄懸細工人勘右衛門	当所細工諸々	野上町 海田屋源左衛門	来月上旬迄
寛政8.2.27	笠岡(岡山)	医師守谷意誓	増野文伯・杉山玄楊家業積古	増屋金右衛門	2/23~4/12(4/4出立)
寛政8.3.14	京都(京都)	間屋笹屋藤兵衛	呉服商売旦那廻り	佐渡屋茂右衛門	4/10迄
寛政8.6.7	近江(滋賀)	布島商人晒屋惣兵衛		当町 椎木(以下不明)	7/12頃迄
寛政8.7.21	大坂(大阪)	順慶町五丁目 筆屋新兵衛	筆墨商売	栴町 小笠屋茂左衛門	当月中
寛政8.9.7	岩国(山口)	松金屋又三郎手代	例年通り胡麻買入	徳山新町 萬屋茂右衛門	9/5~20
寛政8.9.13	甲斐(山梨)	郡内商人文右衛門・与七	郡内島商売	当町 重岡屋金七	2~3日
寛政8.9.18	大坂(大阪)	心齋橋 藤屋清太郎	書物売弘古本買入	本町 松田屋勘右衛門	?
寛政8.9.19	京都(京都)	三条堺町 笹屋藤兵衛	呉服卸売	徳山 佐渡屋	10/20迄
寛政9.正.29	下松(山口)	西市 財布屋儀兵衛	杉苗植木類商売	本町 小笠屋茂左衛門	2/20頃迄
寛政9.3.23	京都(京都)	笹屋藤兵衛	呉服商売	佐渡屋茂右衛門	来月中
寛政9.4.27	広島(広島)	植屋与助手代(2)		花屋甚兵衛	(昨日帰)
寛政9.5.15	広島(広島)	(植屋)	商売方	当町 花屋甚兵衛	5/25迄
寛政9.8.18	岩国(山口)	松金屋又三郎手代	胡麻買	徳山新町 萬屋茂右衛門	9/5迄
寛政9.9.4	京都(京都)	灘屋大兵衛手代	掛方取立	当町 佐渡屋茂右衛門	当月中
〃	京都(京都)	笹屋藤兵衛	呉服商売	当町 佐渡屋茂右衛門	当月中
寛政9.12.11	広島(広島)	植木屋平兵衛・安兵衛	苗物持参	川口屋市兵衛	4~5日
〃	広島(広島)	塚本町 植屋与助手代	掛方取立	橋本町 花屋甚兵衛	12/20迄
寛政10.2.21	池田(大阪)	植木屋与七	苗物持下り	植屋栄藏	4月上旬迄
寛政10.3.6	京都(京都)	笹屋喜兵衛手代	呉服商売	佐渡屋平左衛門	今月中
寛政10.7.10	宮市(山口)	三島屋清五郎	毛氈取繕依頼	竹野屋善右衛門	7/9~8/15
寛政10.8.20	伊勢(三重)	白子町 形屋門藏	例年通り	浅田屋治平	当月中

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
文化6.9.23	京都(京都)	呉服屋近江屋伊助	得意先商売	小笠屋茂左衛門	10/5迄
文化6.9.28	大坂(大阪)	山本町 中村屋利助	所々寺方香売弘め、代銀取立	寺町 中村屋半助	9/23~30日
文化6.11.8	京都(京都)	奥田勘十郎下人(2)	商用	当町 三藤屋源兵衛	11/10迄
文化6.11.8	池田(大阪)	植木屋善七手代	口作苗物持参	柏屋清七	11月中
"	久留米(福岡)	竹野郡 源作	苗物持参	柏屋清七	11月中
文化7.3.13	大坂(大阪)	植木屋治兵衛・林蔵	苗物商売	小笠屋茂左衛門	4月中
文化7.4.10	筑後(福岡)	竹ノ郡 植木屋源作・九平	苗物商売	椎木屋藤十郎	4月中
文化7.4.13	小郡(山口)	元結師福田屋喜作夫婦		鶴屋吉蔵	6月中(10月迄延長)
文化7.4.15	田主丸(福岡)	植木屋嘉右衛門・庄助	売残苗物あり延滞	重岡屋金七	4/25頃迄(5月中旬頃迄延長)
文化7.7.2	高砂(兵庫)	呉服商松屋新蔵		椎木屋藤十郎	6月中のころ10日延長
文化7.7.19	筑後(福岡)	竹野郡 植木屋源作	[当所近在談之植苗有之]	椎木屋藤十郎	8/10頃迄
文化7.10.4	但馬(兵庫)	綿屋勘右衛門	呉服売方	鶴屋吉蔵	10月中旬頃迄
文化7.10.10	由宇(山口)	座頭直之都	勇喜都方で家業稽古	鳥井町 村屋吉右衛門	?
文化7.10.13	出雲(島根)	大社々人手代(3)	旦那廻り	小笠屋茂左衛門	11月中旬頃迄
文化8.②.4	池田(大阪)	植木屋善七	苗物売弘	柏屋清七	3月中
文化8.②.21	紀伊(和歌山)	有田郡小味増浦 境屋甚吉	腕家具売弘 「此内より度々罷越」	重岡屋金七	5月中
文化8.4.13	浜田(島根)	松屋勘左衛門	腰物類売買	小笠屋茂左衛門	4/23頃迄
文化8.7.5	京都(京都)	大和屋新助	腰物道具売買	寺町 中村屋半兵衛	7/15迄
文化8.10.5	田主丸(福岡)	植木屋嘉右衛門・庄助	苗物売	重岡屋金七	12月末迄
文化8.10.19	出雲(島根)	大社々人(2)	旦那廻り	小笠屋茂左衛門	当年中
文化8.11.5	京都(京都)	泉屋新助	腰物古道具売買	寺町 中村屋半兵衛	11/19迄
文化8.12.16	萩(山口)	おもと町 白金屋榮作・弟子(3)	鏝懸々細工	鶴屋新四郎	?
文化9.2.16	備中(岡山)	窪屋郡梯木村 吉備屋広次	酒粕(焼酎)買得	佐渡屋茂左衛門	4月上旬迄
文化9.3.7	京都(京都)	六条花屋町 大和屋新助	古道具類商売	中村屋半兵衛	3/25迄
文化9.3.21	田主丸(福岡)	植木屋嘉右衛門・庄助	苗物持参	本町 重岡屋金七	4月下旬迄
文化9.4.24	嘉川(山口)	寿林	[「温純上手」稽古]	徳山町 亀屋善兵衛	6月頃迄
文化9.5.4	伊勢(三重)	形屋安蔵	[「染物形売」]	徳山町 浅田屋治兵衛	5/7迄
文化9.7.20	出雲(島根)	大社神職手代	旦那旦那廻り	小笠屋茂左衛門	11月中
文化9.8.4	日田(大分)	唐津物焼細工師鍋屋兵衛		鶴屋初四郎	8/15迄
文化9.9.28	京都(京都)	こん田屋嘉七	小間物商い度々来たり	重岡屋金七	10/8迄
文化10.正.23	広島(広島)	筆屋周蔵	筆墨商	重岡屋金七	今月中
文化10.2.13	広島(広島)	油屋武八	?	桶屋口七	2月中
文化10.5.18	大坂(大阪)	備後町一丁目 久宝寺町堺筋 紀伊国屋慶助	小間物商得意先廻り	油屋町 椎木屋藤十郎	10日
文化10.5.27	山口(山口)	金古曾町 泥屋貫蔵	金物類直し商売	重岡屋金七	6/7迄

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
享和3.③.27	江戸(東京)	日本橋 黄山自惚(2)	法華宗千ヶ寺参り	椎木屋藤十郎	2/10頃迄
享和3.5.9	大坂(大阪)	順慶町 綿屋安兵衛	糸物類商売	諫多屋勝左衛門	今月中
享和3.7.19	大坂(大阪)	順慶町一丁目 鉄屋八左衛門店伊八	金物商売	富田新町 戸村屋弥八郎	当月中
享和3.10.16	?	伊勢屋多助	染物類商売、得意先廻り	津田屋治兵衛	10/25迄
享和3.10.21	大坂(大阪)	順慶町 綿屋安兵衛	糸物商売	諫多屋勝左衛門	11月中旬迄
文化元.正.14	甲斐(山梨)	医師長田徳寿・弟子若林秀意・下人	[「此内於江戸懇意」]	鶴屋新四郎	正/12~30日
文化元.2.25	但馬(兵庫)	商人佐二郎・文次郎・安次郎	古綿買入・簀売弘め	重岡屋金七	4~5日
文化元.4.7	京都(京都)	高辻通 塗物商人政田屋平衛	得意先回り	幸丁 山田屋源右衛門	?
文化元.4.12	大坂(大阪)	順慶町 綿屋安兵衛	糸物類商売	諫多屋勝左衛門	4/20迄
文化元.8.19	伊勢(三重)	形屋和(※以下不記)	染物商売	浅田屋治兵衛	今月中
"	大坂(大阪)	順慶町 綿屋安兵衛	糸物類商売	諫多屋勝左衛門	9月中旬迄
文化元.10.晦	池田(大阪)	植木屋(1)		油屋丁 植屋栄蔵	?
文化2.⑥.8	岩国(山口)	田辺屋三助	胡麻買入	油屋宇右衛門	当月中
文化2.⑧.28	下関(山口)	田中ノ古木屋藤兵衛	売買	鶴屋新四郎	10日
文化2.9.5	伊勢(三重)	白子 形屋円蔵		浅田屋治平	20日
文化2.9.6	丹波(兵庫)	丹波袖売正吉		鳥居丁 河村屋吉右衛門	9/10迄
文化2.9.8	摂津(大阪)	花隈村 長右衛門夫婦	多田屋治平方酒造杜氏	油屋丁 津森屋吉兵衛	来年3月頃迄
文化2.10.20	池田(大阪)	植木屋善七	[「当所近辺談之苗物」例年持下り]	植屋栄蔵	12月中旬迄
文化4.2.4	京都(京都)	六角通柳馬場西へ入町 沢屋弥兵衛	扇商売	油屋町 柏屋清七	2/10頃迄
"	京都(京都)	大仏七条西門町 鏡屋弥兵衛	土人形売弘め	油屋町 柏屋清七	15日
文化4.2.16	池田(大阪)	植木屋伝七		植屋政右衛門	4月中旬迄
文化4.6.8	大坂(大阪)	淡路町 板倉寄達夫婦	易道執行	富田新町 伊勢屋善右衛門	20日
文化4.8.20	長崎(長崎)	浅田善吉・友長久米之助	[「商ひ物少々所持仕見舞券として罷越」]	浅田屋治兵衛	9/20頃迄
文化4.9.13	津和野(島根)	安留村 目医師石川宗伯(2)	上方行の途中療治	新町 山田屋源右衛門	9/30迄
文化4.11.4	池田(大阪)	植木屋		?	?
文化5.3.14	京都(京都)	拜師神善四郎名代園部理馬太(7)		清水善右衛門	?
文化5.⑤.3	赤間関(山口)	絵師平吉・表具師万吉	注文絵	当町 菊屋松次郎	⑥/10頃迄
文化5.⑤.6	大島(山口)	小松村(3)	江口開作塩浜糍	米屋茂十郎	⑥/7迄
文化5.⑥.25	中之関(山口)	新八	毛氈取繕細工	菊屋松次郎	?
文化5.8.9	三田尻(山口)	大坂屋幸助	綿弓弦職	当町 吉屋武兵衛	?
文化5.10.26	萩(山口)	戒町 提灯屋梅吉・伴吉五郎	御意あり	菊屋松次郎	11/7迄
文化5.11.12	池田(大阪)	植木屋善七	苗物持下り	柏屋	今月中
文化5.12.11	京都(京都)	西六条花屋町 奥田勘十郎・赤井万助	西本願寺御焼香所要用	当町 山田屋源兵衛	12/20頃迄
文化6.2.4	三田尻(山口)	高洲村 金助	金具細工	寺町 花屋善右衛門	正/26~3/29
文化6.4.9	久留米(福岡)	植木屋弥三郎	苗物売弘め	柏屋清七	今月末迄
文化6.6.13	長崎(長崎)	浅田屋		?	?

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
文政2.4.20	広島(広島)	中村 市郎左衛門 下村 弥助	御作事方御 用物板掲立	当町 木挽儀左衛門	7月中
文政2.④.10	下関(山口)	豊前町 筭屋駒太郎・利兵衛	櫛笄細工	中村屋清九郎	当月中
文政2.5.7	萩(山口)	川添 正木金藏	入歯細工	鶴屋新四郎	当月中
"	鹿野(山口)	丈吉(2)	多々良梅枝 方痔療治	鶴屋新四郎	6月下旬迄
文政2.5.9	大坂(大阪)	南久宝寺町一丁目 今木 屋藤兵衛	行灯類売り、 古物取締	重岡屋金七	当月中
文政2.5.11	大坂(大阪)	煎餅屋音右衛門夫婦娘	煎餅商売	富田新町 繁右衛門	当月中
文政2.7.18	網干(兵庫)	羽黒左近	鍼療修行	下松町 柳屋新六	7/10~ 100日
文政2.7.24	尾張(愛知)	神明神主久野左近(2)	旦那廻り	中村屋清九郎	8月中
文政2.7.26	大坂(大阪)	安堂寺町 弓矢師中川儀 兵衛・同嘉藏	弓売弘め、 弓細工	徳山町 鶴屋新四郎	8/10頃迄
文政2.10.27	摂津(大阪)	木部村 植木屋伝七		柏屋清七	11月中
文政2.10.28	山口(山口)	金古曾 鋸屋十蔵	古鋸刃切直 し細工	重岡屋金七	11/7迄
文政2.11.朔	平生(山口)	眼医師河村玄岱	療治	岡市町 藤屋右衛門	12月中
文政2.12.5	萩(山口)	新堀 藤田忠左衛門	研師渡世	寺町 花屋善右衛門	2月中
文政2.12.19	伊勢(三重)	林大夫手代長谷川三郎右衛門		富田新町 伊口屋新藏	3月下旬迄
文政3.2.16	摂津(兵庫)	木部村 植木屋伝七	苗物商売	柏屋清七	3月下旬迄
文政3.2.17	長府(山口)	杉山村 榮長寺弟子得心夫婦	紙漉功者(四 枚すりの紙漉)	須万村	4~5日
文政3.3.15	大島郡(山口)	小松 関屋虎次郎	提灯張替之 細工	徳山町 重岡屋金七	?
文政3.5.3	萩(山口)	新堀 藤田忠左衛門	研師家業	当町 花屋善右衛門	9月迄
文政3.6.7	萩(山口)	江向 元田白寿	病氣療養	中村屋清九郎	6月中
文政3.7.26	大坂(大阪)	弓師中川儀兵衛		当町 鶴屋新四郎	8月中
文政3.12.16	萩(山口)	新堀 藤田忠左衛門	研師稼	寺町 花屋善右衛門	5月迄
文政4.2.17	摂津(大阪)	木部村 植木屋伝七	植木商売每 春到来	柏屋清七	?
文政4.4.29	向島(山口)	鑄懸師平吉・貞吉・伝五郎		本町 山崎屋新助	4/25~ 5/2
文政4.8.25	江戸(東京)	麴町出生 清七	塗師細工	下松町 五島屋清藏	11月下旬迄
"	安芸(広島)	大田村 永次郎夫婦	徳山町磯松屋 清七方糞業稼	寺町 丸屋孝右衛門	正月下旬迄
文政4.9.4	馬島(山口)	鑄懸師甚吉・弟子庄吉		徳山町 中村屋清九郎	9/10迄
文政4.10.10	馬島(山口)	鑄物師庄吉・弟子甚吉	損物取締	中村屋九郎右衛門	当月中
文政4.11.4	豊後(大分)	府内町 医師松本玄良		富田新町 石津周節	?
"	田主丸(福岡)	植木屋元吉・大吉	苗物商	徳山町 重岡屋金七	12/9迄
文政5.正.28	平生(山口)	眼医師河村玄岱	療治	岡市町 藤屋伊左衛門	年内
文政5.6.26	高森(山口)	薩摩屋藤十郎	椎木綿売買	椎木屋藤十郎	当月中
文政5.12.9	向島(山口)	鑄懸師平藏・善五郎		徳山町 山崎屋新助	12/20迄
文政6.2.5	平生(山口)	眼医師河村玄岱		岡市 藤屋伊左衛門	12月中
文政6.6.4	尾張(愛知)	社入久野左近	旦那廻り	当町 中村屋清九郎	6/4~6
文政6.10.11	三田尻(山口)	新町 織屋市左衛門		徳山町 広中屋善右衛門	11/20迄
文政6.10.13	広瀬(山口)	堀江要左衛門・佐伯幸 藏・下人	病氣療養	徳山町 鶴屋新四郎	当月中
文政7.⑧.10	三田尻(山口)	靴屋利八手代三次郎	呉服物担ぎ売	徳山町 磯松屋清七	9/20迄
文政7.12.13	伊勢(三重)	林大夫手代西村善治		富田新町 五十花屋新藏	3/20迄
文政8.正.15	平生(山口)	眼医師河村南鳳	療治	岡市町 藤屋伊左衛門	当年中

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
文化10.7.3	広島(広島)	竹屋町 金魚屋甚五郎・文作	金魚売り	重岡屋金七	7/10迄(8 /7迄延長)
文化10.7.22	京都(京都)	誉田屋嘉七・新助	袋物呉服物売 「前々より度々 罷下」	重岡屋金七	7月中
文化10.9.17	広島(広島)	糸屋周藏	「得意之者 に付」	重岡屋金七	9月中
文化10.9.24	江戸(東京)	浅草 薬画師哥川源兵衛	絵誂え	遠石町 吉野屋源藏	30日(11/ 15迄延長)
文化10.10.10	山口(山口)	金古曾町 鋸屋十蔵		重岡屋金七	10月中
"	大坂(大阪)	大和屋文兵衛夫婦	煎餅商い	遠石町 □□屋次兵衛	50日
文化10.11.4	三田尻(山口)	有吉孫兵衛	腰物細工	本町 吉屋惣兵衛	11月中
文化10.11.23	室積(山口)	利七	綿さねくり 細工	柏屋清七	12月中
文化11.2.10	池田(大阪)	植木屋善七	苗物持下り	本町 柏屋清七	4月末迄
"	広島(広島)	油屋九兵衛手代	油売弘め	本町 柏屋清七	当月中
文化11.2.18	田主丸(福岡)	植木屋正助・嘉右衛門	「植木御用兼而 承り近年之内 時々呼寄候に 付此節相越」	西横町 平七明家借上げ	当分
文化11.2.27	松山(愛媛)	呉服町 久井屋太兵衛夫 婦ほか(3)	腰物諸道具 売買	本町 鶴屋弥兵衛	10日
文化11.9.21	西宮(兵庫)	伊達周藏	歯細工	鶴岡屋新四郎	当月中のと ころ10月末 迄延長
文化13.8.14	広島(広島)	千原庄吉(2)	借馬商	林屋彦兵衛	⑧/6唄り
文化13.12.10	三田尻(山口)	有吉嘉兵衛	腰物細工	佐渡丁 市次郎	当月中
文化14.3.17	摂津(大阪)	豊島郡木部村 植木屋伝七	苗物持下り	柏屋清七	3月下旬迄
文化14.3.23	大坂(大阪)	鉄屋新七	(毎年遠石 祭市出店)	桔梗屋助六	4/20迄
文化14.7.24	尾張(愛知)	中島社入久野左近(2)		椎木屋藤十郎	8月上旬迄
"	鹿野(山口)	岩崎庄兵衛(2)	病氣療養	柏屋清七	8/10迄
文化14.9.14	山口(山口)	鋸屋十蔵		重岡屋金七	9/20迄
文化14.9.20	安芸(広島)	医師中西玄瑞(5)	療養	鶴屋新平	今月中
文化14.9.24	鳥羽(三重)	画工中部九草・弟子		柏屋清七	10月中
文化14.10.28	摂津(大阪)	木部村 植木屋伝七		柏屋清七	12月中旬迄
文化14.11.23	広島(広島)	西川御堂町 綿屋周藏	筆墨商	重岡屋金七	11月中
文政元.正.26	床波浦(山口)	酒井屋伝兵衛	?	重岡屋金七	正月中
文政元.2.9	安芸(広島)	沼田郡都村 木挽儀左衛門 居守(山口) 木挽勇介 佐伯郡島田村 木挽半蔵 久米(山口) 木挽鶴松	御屋敷山材 木挽立	西浜崎 下木挽音右衛門	7/10迄
文政元.2.25	摂津(大阪)	木部村 植木屋伝七		?	?
文政元.4.27	高森(山口)	薩摩屋弥右衛門	端物売り (毎年罷越)	当町 椎木屋藤十郎	5/10頃迄
文政元.5.3	京都(京都)	画師節山	画業修業	鶴屋新平	5/20迄
文政元.7.26	萩(山口)	新堀 塗師長岡弥吉夫婦		寺町 瓦屋安左衛門	10/29迄
文政元.8.4	三田尻(山口)	築留 見世屋吉郎右衛門	多々良梅枝 方痔療治	鶴屋新四郎	当月中
文政元.9.4	三田尻(山口)	築留 見世屋吉郎右衛門親子(3)	痔治療	鶴屋新四郎	9月中
文政元.9.19	山口(山口)	金古曾町 鋸屋十蔵		重岡屋金七	当月中
文政元.12.24	伊勢(三重)	林大夫手代梶田徳右衛門		富田新町 松屋清七	?

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
文政12.8.17	尾張(愛知)	中之島社人久野左近(2)	旦那廻り	当町 中村屋清九郎	9/11迄の ところ 9/15迄 延長
文政12.11.13	豊後(大分)	大野郡田中村 神職井上 要人	易道執行	当町 菊屋松二郎	11月中
文政12.11.15	池田(大阪)	植木屋弥三郎		当町 柏屋清七	当年中
文政12.11.24	筑前(福岡)	目医師田原口貞	治療	志津屋与七	50日
天保元.③.29	三田尻(山口)	製薬師岡田慶蔵	製薬指南	当町 磯部屋又四郎	来月中
天保2.11.16	池田(大阪)	植木屋喜右衛門	詠苗物持下り	柏屋清七	12/10迄
天保2.12.11	大坂(大阪)	玉造越中町三丁目 山口屋 岩助・同伴安五郎・娘はつ	箆細工	当町 住屋又吉	正/15迄
天保3.正.27	戸田市(山口)	宮市屋安兵衛	商売	柏屋清七	2/29迄
天保3.11.4	京都(京都)	長原屋茂七	呉服小売	当町 柏屋清七	当月中の ところ来月中 迄延長
天保3.12.6	池田(大阪)	植木屋平兵衛・弥助		柏屋清七	先月迄の ところ当 月迄延長
天保4.正.24	京都(京都)	御室御所医松川法橋夫 婦・下人	眼病治療	当町 鶴屋新平	2月中旬迄
天保4.2.11	池田(大阪)	植木屋孫助・平兵衛・伝七		柏屋清七	4/晦迄
天保4.5.14	江戸(東京)	浅草 縫師四つ目屋貞吉	(長崎行の 途中)	鶴屋新吉	今月中
天保4.5.27	戸田市(山口)	安兵衛		柏屋清七	6/4迄
天保4.10.15	尾張(愛知)	中之島社人久野左近(2)		当町 中村屋清九郎	10/14迄の ところ10/ 21迄延長
天保4.10.21	池田(大阪)	植木屋平兵衛・平蔵・伝七		柏屋清七	当年中
天保4.10.23	戸田市(山口)	宮市屋安兵衛		柏屋清七	?
天保4.11.4	安芸(広島)	熊野村 布屋安太郎	呉服物小売り	当町 重岡屋金七	11/15迄
天保4.11.29	右田(山口)	彦助一家(5)	出稼	富海町 瀬戸田屋利右衛門	来年中
天保4.12.2	芦屋(福岡)	唐津屋丈右衛門	唐津物商売	柏屋清七	当年中
天保4.12.23	岩国(山口)	通津 栄助	商売	当町 銭屋小兵衛	来年中
天保5.2.9	池田(大阪)	植木屋平蔵・伝七		柏屋清七	3/15迄
天保5.2.16	池田(大阪)	植木屋源兵衛		柏屋清七	3/15迄
天保5.5.11	池田(大阪)	植木屋平蔵		柏屋清七	6/20迄
天保5.5.19	大坂(大阪)	播磨屋弥助・惣右衛門	商売	柏屋清七	今月中
"	戸田市(山口)	宮市屋安兵衛		柏屋清七	今月中
天保5.10.28	池田(大阪)	植木屋平蔵・伝七		柏屋清七	11月中
天保6.2.2	池田(大阪)	植木屋平蔵		柏屋清七	3/15迄
天保7.5.24	室積(山口)	大野屋新助・大右衛門	呉服商売	重岡屋金七	今月中
天保7.10.14	尾道(広島)	福島屋十兵衛手代		小笠屋茂右衛門	当月中
天保7.11.18	京都(京都)	秤師神谷四郎名代山田伊兵衛(8)	領内秤改め	佐渡町 ?	?
天保7.12.6	池田(大阪)	植木屋豊蔵・儀兵衛		柏屋清七	12月中
天保7.12.24	京都(京都)	柏屋定兵衛	古道具持下 (萩行の途中)	寺町 中村屋泉吉	年越し
天保8.正.25	阿波(徳島)	藍屋大兵衛		重岡屋金七	当月中
天保8.正.晦	池田(大阪)	植木屋儀右衛門		柏屋清七	来月中
天保8.5.21	京都(京都)	三条 近江屋八郎右衛門 手代藤三郎	掛方取立	重岡屋金七	?

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
文政8.7.朔	但馬(兵庫)	朝来郡竹田 堅地屋徳兵 衛・角屋富三郎	塗物商売、 懸方取立	遠石町 吉田屋善蔵	6月限りの ところ7/ 20迄延長
文政8.9.14	徳島(徳島)	画師森桃江(2)	「画道修行」	当町 柏屋清七	9/25迄
文政8.9.28	?	山田春庵	目医業稽古 (毎年来り)	富田古市 小川屋好介	当年中
文政8.11.9	池田(大阪)	植木屋徳右衛門		当町 重岡屋金七	当月中
文政8.11.15	芦屋(福岡)	平市	唐津物売	当町 柏屋清七	今日迄のと ころ12/20 迄延長
文政9.2.13	小倉(福岡)	金屋町 才助・作兵衛	鑄懸細工	当町 菊屋藤兵衛	2/25迄
文政9.2.25	池田(大阪)	植木屋徳右衛門		柏屋清七	3/20迄
文政9.11.14	池田(大阪)	植木屋口口	苗物持下り	柏屋清七	12/20迄
文政9.11.24	江戸(東京)	鈴木屋喜兵衛・喜三郎	用事	当町 重岡屋金七	12/7迄
文政10.2.21	京都(京都)	四条通堺町 入歯師安村 源造夫婦	(九州行の ところ)	当町 重岡屋金七	20日
文政10.2.23	池田(大阪)	植木屋伝右衛門・荷物持		柏屋清七	3/晦迄
"	池田(大阪)	植木屋徳右衛門・荷物持		重岡屋金七	3/晦迄
文政10.3.18	小倉(福岡)	鑄懸師丈助・平助・綱五郎		当町 菊屋東兵衛	4/3迄
文政10.3.晦	池田(大阪)	植木屋喜右衛門		柏屋清七	4/晦迄
"	倉敷(岡山)	菓子屋伊兵衛	菓子職指南	当町 山田甚右衛門	5/晦迄
文政10.5.6	池田(大阪)	植木屋貞次郎		柏屋清七	5/18迄
文政10.⑥.13	宮市(山口)	大工藤岡幸左衛門・弟子(2)		中村屋清九郎	⑥/晦 迄 延長
文政10.9.4	京都(京都)	烏丸通り中立亮 司馬主計	用事	中村屋清九郎	9/25迄
文政10.9.13	大坂(大阪)	玉造越中町 山口屋岩助 伴安五郎・娘はつ	箆細工	住屋又吉	9月中
文政10.9.14	宮市(山口)	簾細工人喜兵衛夫婦		当町 菊屋権七	当年中
文政10.10.19	池田(大阪)	喜多右衛門・貞次郎・弥三郎	詠苗物持参	柏屋清七	11/晦迄
文政10.10.26	平生(山口)	三文字屋平兵衛	痔瘻治	当町 水本屋宇八	12/25迄
文政10.11.6	?	植木屋喜兵衛	詠苗物持下り	柏屋清七	12/15迄
文政10.11.19	山口(山口)	今市 彫物師只八夫婦	詠細工	当町 亀屋市右衛門	11/27迄
文政10.11.25	豊後(大分)	浜脇 船問屋塩屋又次郎	掛方取立	当町 金屋惣左衛門	正月中旬迄
文政11.2.6	池田(大阪)	植木屋弥三郎		柏屋清七	3/15迄
文政11.2.20	戸田(山口)	菓子屋清七娘ぬい寿(醫女)	稽古事	当町 海老屋利兵衛	年内
文政11.5.10	京都(京都)	目医師田原昌玄(4)	萩より帰途、 富海町で療治	富海町 瀬戸田屋岩吉	5月中
"	小倉(福岡)	鑄物師平助・平次郎・丈七		当町 菊屋松次郎	5/17迄
文政11.6.8	三田尻(山口)	築留 藤本寿仙一家(3)	医道修行	野上屋孝三郎	当年中
文政11.6.11	?	金屋三九郎	「売用」	当町 森田屋啓蔵	11/晦迄
文政11.10.2	三田尻(山口)	鑄懸師清吉夫婦	当町鑄懸師 善助方稽古	当町 菊屋松次郎	9月中のと ころ10/15 迄延長
文政11.11.8	池田(大阪)	植木屋弥三郎	詠苗物持下り	柏屋清七	?
文政11.12.5	伊勢(三重)	御師林大夫手代柳原伝蔵	旦那廻り	富田新町 五十君屋新蔵	3/20迄
文政11.12.26	大坂(大阪)	高野新地一丁目 菓子屋 卯之助夫婦	売用	遠石 明石屋良助	8月迄
文政12.2.23	池田(大阪)	植木屋弥三郎	詠苗物持下り	柏屋清七	4/15迄
文政12.4.5	京都(京都)	三輪白雲	「陰陽道執行」	当町 中村屋清九郎	10日
文政12.5.9	三田尻(山口)	鑄懸師清七夫婦		当町 広中屋喜右衛門	当月中
文政12.7.4	広島(広島)	医師佐久間玄徳	療治(九州へ 修行の途中)	崎屋孫兵衛	今月中

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
天保12.2.10	三田尻(山口)	磯兼屋惣左衛門・松屋吉助・吉野屋嘉吉	誂古手・端物類	柏屋清七	2/20迄のところ3/晦迄延長
天保12.3.6	大坂(大阪)	津国屋善七	袋物商	柏屋清七	3/10迄
天保12.5.13	近江(滋賀)	布屋和助・嘉兵衛	帷子類小売	柏屋清七	5/25迄
天保12.6.28	京都(京都)	儒者木村才藏	桜井文水へ罷下りの途中	当町 鶴屋清兵衛	7/10迄
天保12.7.24	三田尻(山口)	美濃屋平兵衛・平生屋和兵衛		当町 中村屋清九郎	8/3迄
天保12.7.29	長崎(長崎)	猪俣瑞英(2)	医道修行罷越し	当町 中村屋清九郎	8/5迄
天保12.8.16	長崎(長崎)	医師井内瑞英	松岡玄知へ	当町 中村屋清九郎	8/20迄
天保12.8.28	三田尻(山口)	美濃屋平兵衛・平生屋和兵衛		当町 中村屋清九郎	当月中
天保12.9.5	京都(京都)	表具師尾張屋利三郎・手代忠兵衛		柏屋清七	9月中のところ10/20迄延長
"	埴生(山口)	鏡磨師長府屋惣左衛門		柏屋清七	10/20迄延長
"	肥後(熊本)	星子吉次郎	武器弓鞍仕置	柏屋清七	9/20迄
天保12.10.8	萩(山口)	内山俊藏	算術指南(子供稽古)	当町 中村屋清九郎	11月中
天保12.10.25	広島(広島)	間屋若狭屋甚三郎・柄杓屋善右衛門・下人		柏屋清七	当月中
"	埴生(山口)	鏡磨師長府屋平右衛門・梅吉	鏡細工誂	柏屋清七	11/10迄
天保12.11.29	宇和島(愛媛)	矢野屋京平		柏屋清七	12/5迄
天保12.12.14	池田(大阪)	植木屋虎次郎		柏屋清七	12月中
天保13.2.14	宇和島(愛媛)	須川村 角細工人豊吉夫婦		当町 中屋勝藏	3/10迄のところ3回延長で9月迄
"	但馬(兵庫)	茶碗屋和三郎・菊三郎	貫綿小売	柏屋清七	2月中
天保13.2.21	池田(大阪)	植木屋虎二郎		柏屋清七	3月中
天保13.4.6	埴生(山口)	鏡磨師長府屋平右衛門・梅吉		柏屋清七	来月中
天保13.5.21	肥後(熊本)	星子吉次郎	武器弓鞍仕直	当町 中野屋平右衛門	5/20迄のところ8回延長で来年6/10迄
天保13.6.6	近江(滋賀)	清水屋銀左衛門・手代	布類小売	当町 梅屋清三	6/15迄
天保13.7.18	大坂(大阪)	撰津国屋善七	下緒打紐類小売	柏屋清七	7/25迄
天保13.7.29	京都(京都)	大津屋佐七	萩より帰途売掛あり	柏屋清七	8/3迄
天保13.7.晦	柳井(山口)	本町 見取屋清助	干菓子糺日雇	当町 植屋弥吉	8/28迄
天保13.8.14	但馬(兵庫)	茶碗屋広平	古綿貫持下り	柏屋清七	9/10迄
天保13.8.18	三田尻(山口)	馬具師馬具屋三右衛門		当町 中村屋清九郎	9/29迄
天保13.10.14	三田尻(山口)	馬具師馬具屋三右衛門		当町 中村屋清九郎	11月中
天保13.11.23	大坂(大阪)	戎屋吉兵衛	木綿反物持下り	柏屋清七	12/5迄
天保14.正.11	萩(山口)	鏡屋市三郎	鏡磨	当町 中村屋清九郎	今月中
天保14.2.19	三田尻(山口)	松屋徳次郎・荷物持	木綿物小売	柏屋清七	今月中
天保14.2.23	姫路(兵庫)	姫吉	更紗手間	当町 雷屋勝藏	4月中
天保14.3.8	池田(大阪)	植木屋喜代藏		柏屋清七	3月中
天保14.3.14	三田尻(山口)	松屋篤兵衛・荷物持	反物小売	柏屋清七	4/10迄

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
天保8.8.13	安芸(広島)	熊野村 宮田屋直兵衛	商売	重岡屋金七	8/21迄
天保9.5.16	阿波(徳島)	柳井細工人音五郎・十兵衛	櫛鏡磨	柏屋清七	6/10迄
"	山口(山口)	塗師吉富惣右衛門		?	?
天保9.8.26	伯耆(鳥取)	久米郡下松上村 沢屋清助一家(2)	灸	中村屋清九郎	当月中
天保9.9.3	京都(京都)	医師平岡民部	病人療養	柏屋清七	8月中のところ9/12迄延長
天保9.9.22	京都(京都)	胡屋卯兵衛・吉兵衛	呉服小売	柏屋清七	10/10迄
天保9.10.晦	池田(大阪)	植木屋庄兵衛・弥七・寅次郎		柏屋清七	11/晦迄
天保9.12.21	平生(山口)	水場ノ玉村屋弥三郎	提灯張替	重岡屋金七	12/晦迄
天保10.2.14	池田(大阪)	植木屋庄兵衛・虎次郎		柏屋清七	3/20迄
天保10.4.7	長崎(長崎)	印判司大城源四郎・小林建藏		柏屋清七	4/25迄のところ4/28迄延長
天保10.5.25	長崎(長崎)	医師奈良林大之進	諸病治療(江戸よりの帰途)	当町 福田屋市兵衛	?
天保10.6.朔	近江(滋賀)	布屋武兵衛・太郎左衛門	蚊帳小売	柏屋清七	7/5迄
天保10.6.29	浅江(山口)	山田屋常治郎	布類小売	柏屋清七	7/15迄
天保10.7.13	江戸(東京)	神田三河町 小浜屋伊之助夫婦	当町鶴屋新吉衣類仕立職稽古	鶴屋新平	7月中
天保10.8.11	高松(香川)	印判師小林建藏		当町 福田屋市兵衛	8月中
天保10.9.4	柳井(山口)	長谷屋清三郎夫婦	呉服小売	柏屋清七	9/15迄
天保10.10.4	大坂(大阪)	戎屋吉兵衛	呉服物小売	柏屋清七	10/10迄のところ10/25迄延長
天保10.10.28	池田(大阪)	植木屋寅治郎・庄兵衛	誂苗物	柏屋清七	11月中
天保10.10.晦	京都(京都)	塩屋惣八	呉服物小売	柏屋清七	11/15迄
天保10.12.8	三田尻(山口)	磯金屋惣左衛門・塩屋文三郎	呉服古手類小売	柏屋清七	今月中
天保10.12.27	豊田西市(山口)	萩屋孫兵衛・娘	干菓子飴類製法指南	当町 福田屋市兵衛	正月中
"	大坂(大阪)	胡屋吉兵衛	呉服物商い	柏屋清七	12/29迄
天保11.2.晦	浅江(山口)	山田屋友之進	呉服物小売	柏屋清七	3/15迄
"	池田(大阪)	植木屋虎治郎・庄兵衛		柏屋清七	来月中
天保11.4.9	三田尻(山口)	松屋清三郎・手代吉助	呉服類小売	柏屋清七	4/25迄
天保11.4.15	近江(滋賀)	布屋武兵衛・太郎左衛門	蚊帳持下り	柏屋清七	4月中
天保11.4.23	京都(京都)	河合八蔵	腰物持下り	柏屋清七	4/28迄
天保11.5.9	?	尾張屋長兵衛・手代忠兵衛	腰物持下り	柏屋清七	5/20迄
天保11.6.14	三田尻(山口)	松屋吉助	呉服類小売	柏屋清七	今月中
天保11.6.23	大坂(大阪)	画師中西寿平	修行に九州下向途中	当町 鶴屋清兵衛	7月中
天保11.8.13	三田尻(山口)	松屋吉助・磯兼屋惣左衛門・同新助	古手反物類小売	柏屋清七	8月中
天保11.9.25	大坂(大阪)	戎屋吉兵衛	呉服物小売	柏屋清七	10/15迄
天保12.2.6	埴生(山口)	長府屋平左衛門・梅吉	鏡細工	柏屋清七	2/20迄のところ3/10迄延長
天保12.2.10	池田(大阪)	植木屋虎次郎		柏屋清七	3/晦迄



年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間	
弘化3.2.4	三田尻(山口)	松屋清次郎・荷物持	反物小売	中村屋清九郎	2月中	
弘化3.2.13	大坂(大阪)	島之内 平野屋新兵衛夫婦・手代(3)	更紗類小売	柏屋清七	2/16迄	
弘化3.2.17	松山(愛媛)	三ツ屋若吉・弟子新助・代吉	櫛笄接磨き	柏屋清七	2/29迄	
弘化3.2.23	堺(大阪)	鉄炮藏治山田五兵衛内東上伝次		中村屋清九郎	3/20迄	
弘化3.2.23	宮市(山口)	福田屋喜三郎	反物小売	当町 椎木屋藤十郎	3/20迄	
弘化3.11.17	宮市(山口)	下瀬屋宇八・手代	反物商売	柏屋清七	12/10迄	
"	松山(愛媛)	脇差屋善右衛門	刀脇差細工	柏屋清七	12/20迄の ところ正月 迄延長	
弘化3.11.25	三田尻(山口)	松屋清四郎・手代	反物小売	中村屋清九郎	11月中	
弘化4.正.20	笹山(兵庫)	道具師三浦喜助	小道具類売買	当町 鶴屋新四郎	正月中	
弘化4.3.晦	尾張(愛知)	中島神職矢野左近亮(2)		中村屋清九郎	3/27~4/ 7のところ 4/1迄延長	
"	大坂(大阪)	京町二丁目 池田屋利兵衛店捨吉		当町 鶴屋新吉	4/15迄	
弘化4.6.17	萩(山口)	吉田屋亀吉・角屋文吉		当町 吉屋弥兵衛	7/5迄	
弘化4.6.22	三田尻(山口)	松屋清次郎代嘉十郎・荷物持	反物小売	中村屋清九郎	7/10迄	
弘化4.7.7	萩(山口)	小畑ノ吉田八重吉・角屋文吉		吉屋弥兵衛	当月中	
弘化4.7.16	京都(京都)	道具商売人大津屋忠兵衛(旅よりの帰途 病氣療養)		柏屋清七	?	
弘化4.10.7	下関(山口)	鏡磨屋弁助・忠兵衛		柏屋清七	11/10迄	
弘化4.10.19	出雲(島根)	社人佐々藤房太輔(2)		当町 小笠屋茂右衛門	11/15迄	
弘化4.11.8	笹山(兵庫)	三浦幾右衛門代嘉助	腰物類商売	鶴屋新四郎	11/13迄	
嘉永元.2.6	三田尻(山口)	松屋清三郎・手代(2)	反物小売	中村屋清九郎	2月中	
嘉永元.2.23	船橋(千葉)	釜屋佐吉夫婦	焼印細工	柏屋清七	2月中	
嘉永元.4.13	近江(滋賀)	布屋新七・手代	蚊帳商	柏屋清七	4/25迄	
嘉永元.4.29	三田尻(山口)	松屋清三郎・手代	反物小売	中村屋清九郎	5月中	
嘉永元.5.13	尾張(愛知)	中島神職久野左近亮(2)		中村屋清九郎	5/15迄	
嘉永元.5.19	但馬(兵庫)	茶碗屋清左衛門・末田善五郎	蒲団綿商	柏屋清七	5月中	
嘉永元.5.26	近江(滋賀)	布屋仁兵衛・手代(2)	反物小売	柏屋清七	5月中	
嘉永元.7.4	宮市(山口)	岩田屋重助・手代	反物小売	中村屋清九郎	7/13迄	
嘉永元.7.6	近江(滋賀)	布屋仁三郎・手代	蚊帳商い	柏屋清七	7/10迄	
嘉永元.8.11	宮市(山口)	岩田屋十助	呉服物小売	椎木屋藤十郎	8月中	
嘉永元.9.4	佐賀(佐賀)	唐津屋常助	焼物小売	柏屋清七	9/20迄	
嘉永元.9.8	徳島(徳島)	木具屋和兵衛・荷持	反物小売	柏屋清七	9/15迄	
嘉永元.9.10	筑前(福岡)	岡田屋兵助	脇差柄細工	当町 福田屋五兵衛	9月中	
嘉永元.9.18	三田尻(山口)	松屋清次郎・手代	反物小売	当町 中村屋清九郎	10月中	
嘉永元.9.28	京都(京都)	大津屋茂助・荷持	劔刀類商売	松屋清七	9月中	
嘉永元.10.2	出雲(島根)	大社正祢宜佐々藤房太輔・家木政右衛門		旦那廻り	小笠屋茂右衛門	10月中
嘉永元.10.4	池田(大阪)	植木屋善右衛門	苗物注文取り	柏屋清七	11/15迄	
嘉永元.10.6	福岡(福岡)	上野兵助	脇差細工	当町 福田屋五兵衛	11月中	
嘉永元.10.15	大坂(大阪)	九之助橋一丁目 藤田耕谷	「当所江絵事 修行」	当町 鶴谷新四郎	10月中	
嘉永元.11.9	大坂(大阪)	常安橋 船宿長浜屋半兵衛	得意廻り	当町 多田屋嘉兵衛	11/20迄	
嘉永元.11.晦	秋穂浦(山口)	村田屋百合松	売買取引	当町 吉屋弥兵衛	12/15迄	
嘉永元.12.8	京都(京都)	丁屋吉兵衛・手代	反物卸小売	中村屋清九郎	12/29迄	
嘉永2.正.14	京都(京都)	雁金屋吉兵衛・手代	端物小売	当町 山城屋吉兵衛	正月中	
嘉永2.5.14	都濃郡(山口)	立野村 嘉伝次夫婦	馬業	遠石町 文屋熊次郎	当分	

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
天保14.3.晦	大坂(大阪)	宰屋与兵衛・仙之助	丸行灯下り	柏屋清七	4/10迄
天保14.4.10	三田尻(山口)	筆師喜三郎	当町川崎屋房 吉筆結方稽古	?	8月中
天保14.4.14	三田尻(山口)	松屋徳兵衛	木綿物売	柏屋清七	今月中
天保14.5.8	近江(滋賀)	布屋小兵衛	蚊帳帷子類 持下り	柏屋清七	5/20迄
天保14.5.26	三田尻(山口)	松屋徳兵衛	反物小売	柏屋清七	6/10迄
天保14.7.23	赤穂(兵庫)	山口屋安兵衛夫婦(6)	箆細工	当町 崎屋源兵衛	8/10迄
天保14.9.朔	出雲(島根)	木次村 田中屋庄五郎・ 同萬吉・代次屋源平	稲扱売	柏屋清七	9/20迄
天保14.9.14	三田尻(山口)	松屋徳兵衛・荷物持	反物売	柏屋清七	9/25迄
天保14.9.20	宮市(山口)	小物屋和吉	呉服物切々 木綿反物売	当町 重岡屋金七	9月中のと ころ⑨/16 迄延長
天保14.10.朔	三田尻(山口)	松屋徳兵衛・荷物持	反物類売	柏屋清七	10/15迄
天保14.12.5	三田尻(山口)	松屋徳兵衛		柏屋清七	12/20迄
弘化元.正.晦	三田尻(山口)	松屋徳兵衛	反物小売	柏屋清七	2/15迄
弘化元.2.19	出雲(島根)	大社園造千家内佐々藤房 大輔手代川上幾之允	旦那廻り	当町 小笠屋茂左衛門	2月中
弘化元.3.14	近江(滋賀)	愛智郡吉田村 布屋武兵衛・佐七	仏具類売(前々 より籠下り)	柏屋清七	3月中
弘化元.3.23	三田尻(山口)	松屋徳兵衛	反物売	柏屋清七	4/25迄
弘化元.6.20	近江(滋賀)	愛智郡吉田村 布屋弥助	布物小売	柏屋清七	6/25迄
弘化元.8.20	三田尻(山口)	松屋清三郎・手代・荷物持	端物小売	当町 中村屋清九郎	8月中
弘化元.9.11	出雲(島根)	大社神官正彌宜佐々藤房 大輔手代川上幾之丞	旦那廻り	当町 小笠屋茂左衛門	9月中
弘化元.9.28	三田尻(山口)	松屋清兵衛・荷物持(2)	端物小売	当町 中村屋清九郎	10/5迄
弘化元.11.18	三田尻(山口)	松屋清次郎・荷物持	端物小売	中村屋清九郎	11月中
弘化元.12.15	三田尻(山口)	松屋清次郎・荷物持	端物類売	当町 中村屋清九郎	12月中
弘化2.正.24	岩国(山口)	新小路町 角屋常吉・柳 井屋秀三郎	小売	柏屋清七	正月中
弘化2.正.29	宮市(山口)	岩田屋忠右衛門	反物小売	中村屋清九郎	2/20迄
弘化2.2.22	三田尻(山口)	松屋虎吉・荷物持	端物小売	中村屋清九郎	2月中
弘化2.4.23	三田尻(山口)	松屋新蔵・荷物持	端物小売	中村屋清九郎	5/20迄
弘化2.6.11	大島浦(山口)	文光堂家内(4)	古い渡世	遠石町 明石屋兼次郎	6月中
"	近江(滋賀)	愛智郡吉田村 布屋弥 助・小兵衛	布小売	柏屋清七	6/25迄
弘化2.6.21	宮市(山口)	福田屋喜三郎	端物小売	当町 椎木屋藤十郎	6月中
"	三田尻(山口)	松屋新兵衛・嘉十	端物小売	中村屋清九郎	6月中
弘化2.8.18	三田尻(山口)	松屋新兵衛・清次郎	端物小売	中村屋清九郎	9/10迄
"	宮市(山口)	福田屋喜三郎・清次郎	端物小売	椎木屋藤十郎	9/10迄
弘化2.10.3	三田尻(山口)	松屋清次郎・新兵衛	端物小売	中村屋清九郎	10月中
弘化2.10.9	京都(京都)	西山梅々畑広島村 甚兵衛 衛夫婦・弟勇助	「横槍職業 之者」	富田新町 五十君屋新蔵	10/7~25
弘化2.10.17	?	唐津屋徳助・常助	唐津物売り	柏屋清七	10/29迄
弘化2.10.24	下関(山口)	鏡磨屋弁助	鏡磨き	柏屋清七	11/5迄
弘化2.11.8	三田尻(山口)	松屋清次郎・手代嘉十郎	反物小売	中村屋清九郎	11月中
弘化2.11.19	出雲(島根)	大社	旦那廻り	小笠屋茂左衛門	12/15迄
弘化2.12.26	備前(岡山)	天城村 郡屋金兵衛代竹次郎	縁綿売弘め	遠石町 吉田屋清兵衛	来2/晦迄
弘化3.正.29	厚狭(山口)	松本久八	山田清兵衛 方取引	柏屋清七	2/5迄

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
安政4.10.23	出雲(島根)	社人(2)	旦那廻り	鶴屋新吉	10/19、20
安政5.4.23	高森(山口)	三原屋新兵衛手代(2)	反物小売	新町 椎木屋藤十郎	5/8~27
安政5.7.28	広島(広島)	薬種屋大杉屋卯三郎手代	医師中注の薬種持下り	当町 ?	?
安政5.10.19	松山(愛媛)	笹山金五郎・弟子弥助	櫛笄継磨	柏屋清七	11/9迄
"	柳井(山口)	今町 島屋常吉	鏡磨	当町 吉屋弥兵衛	11/10迄
安政6.2.14	加賀(石川)	塩屋安兵衛	箆細工	柏屋清七	3/4迄
"	三田尻(山口)	鶴屋岩吉	反物小売	柏屋清七	?
安政6.6.6	近江(滋賀)	木綿屋吉兵衛	布小売	当町 椎木屋藤十郎	6/10迄
"	宮市(山口)	福田屋孫兵衛	端物小売	当町 椎木屋藤十郎	?
安政6.9.16	近江(滋賀)	木綿屋普吉	諸古手類小売	椎木屋藤十郎	9/25迄
安政6.10.29	出雲(島根)	大社々人	旦那廻り	当町 鶴屋新吉	11/27迄
万延元.4.20	近江(滋賀)	木綿屋吉兵衛	布小売	当町 椎木屋藤十郎	5/20迄
万延元.5.3	京都(京都)	大津屋茂助	刃刀売	当町 松屋政吉	4/26~5/16
万延元.6.17	近江(滋賀)	松屋宗兵衛	大物商売	下松町 油屋利吉	6/22迄
万延元.7.12	京都(京都)	梶田市之丞	刃刀売	当町 福田屋五兵衛	7/6~25
万延元.10.朔	近江(滋賀)	布屋彦右衛門	大物卸売	下松町 油屋利吉	10/5迄
"	山口(山口)	奈良屋謙之助	呉服物小売	徳山町 鶴屋新吉	10/13迄
万延元.11.6	出雲(島根)	佐々藤房太輔手代	旦那廻り	当町 鶴屋新吉	11/4~23
文久元.4.15	近江(滋賀)	木綿屋吉右衛門・手代	布小売	当町 竹屋庄兵衛	4/13~5/3
文久元.6.2	筑後(福岡)	しほり屋新兵衛	木綿紋小売	当町 綿屋源藏	5/晦~6/19
文久元.10.29	出雲(島根)	社人・手代	旦那廻り	当町 鶴屋新吉	11/16迄
文久2.4.21	輪島(石川)	北風屋儀兵衛・嘉兵衛	塗物小売	当町 竹屋庄兵衛	4/18~5/7
文久2.⑧.11	奈良(奈良)	梶田市兵衛	腰物小道具卸売	当町 松屋政吉	⑧/9~28
文久2.9.4	近江(滋賀)	布屋彦右衛門	大物卸売	下松町 油谷利吉	9/2~10
文久2.10.23	京都(京都)	備後屋落七	刃刀売	松屋政吉	10/18~27
文久3.4.20	近江(滋賀)	木綿屋吉兵衛	布類小売	当町 竹屋庄兵衛	5/10迄
文久3.11.9	大坂(大阪)	道修町 伏見屋市兵衛代喜兵衛		当町 吉屋弥兵衛	11/8~10
文久3.11.11	岩国(山口)	和泉屋栄十郎	槍柄木御用調	荒仕子利吉	?
文久3.11.22	阿波(徳島)	戎屋清八	藍玉売方	下松 伊豆屋清次郎	11/21~12/29
文久3.11.25	安芸(広島)	高宮郡下深川村 沖野屋政平	榎実受取	徳山町 花屋友吉	11/24~12/5
文久3.12.8	宮市(山口)	藤井清七・同喜十郎	道具商売	徳山町 吉屋弥兵衛	12/6~11
文久3.12.9	広島(広島)	山口屋仙松	馬商売	本町 竹屋庄兵衛	12/8~15
文久3.12.23	伊勢(三重)	林太夫名代磯田源右衛門	旦那廻り	富田新町 小間物屋寅吉	30日
元治元.3.29	近江(滋賀)	布屋彦右衛門	古物卸売	下松町 油屋利吉	3/28~4/7
元治元.4.8	山口(山口)	安部孫左衛門・家来	栗屋村へ用向	遠石町 吉木屋金右衛門	4/6~10
"	田布施(山口)	吉田屋源吉・藤田屋藤吉	榎実相談懸	本町 花屋友吉	4/6~13
元治元.5.朔	萩(山口)	熊谷町 大黒屋伊兵衛	古道具商	当町 吉村屋利兵衛	4/29~5/8のころ 5/17迄延長
元治元.5.20	秋穂(山口)	米屋嘉十郎・伴栄太郎	古道具商	当町 吉屋弥兵衛	5/17~晦
"	広島(広島)	水田萬次郎	馬商	当町 竹屋庄兵衛	5/11~20

年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
嘉永3.正.16	赤間関(山口)	久宝寺屋善兵衛	仏具古道具商い取立	新町 松屋三左衛門	正/晦迄のころ12回延長で9月中迄
嘉永3.3.朔	近江(滋賀)	布屋仁兵衛手代(2)	津田屋治兵衛・松田屋利兵衛方呉服卸売注文取り	柏屋清七	3/4迄
嘉永3.3.6	江戸(東京)	刀鍛冶加藤八郎弟子	稽古	当町 長門屋勘次郎	4/10迄
嘉永3.3.21	堺(大阪)	鉄炮師藍谷与三右衛門・手代		柏屋清七	3/晦迄
嘉永3.5.29	近江(滋賀)	松屋宗兵衛・手代	呉服物卸売	下松町 油屋太作	6/3迄
"	阿波(徳島)	戎屋清八・綿屋清助	藍玉町在注文配方取立、注文和製砂糖少々積下り	下松町 伊豆屋清助	6/14迄
嘉永3.8.10	大坂(大阪)	肥後屋卯兵衛 播磨屋忠藏	小間物卸売注文取	下松町 油屋多作	8/15迄 8/6~10
嘉永3.9.14	近江(滋賀)	布屋彦右衛門	反物卸売、注文取	下松町 油屋多作	9/10~7日
嘉永3.9.24	出雲(島根)	社人佐々藤房太輔手代	旦那廻り	当町 小笠屋茂右衛門	9/23~10/13
嘉永4.3.23	安芸(広島)	高宮郡狩留家村 増平夫婦	板場職人	遠石町 吉田屋金兵衛	12月迄
嘉永4.5.17	近江(滋賀)	布屋仁兵衛・手代(2)	反物卸売注文取	柏屋清七	5/18~23
嘉永4.8.16	近江(滋賀)	布屋仁兵衛・手代	反物卸売注文取	柏屋清七	8/16~22
嘉永4.10.6	出雲(島根)	大社佐々藤房太輔・手代	旦那廻り	当町 小笠屋茂右衛門	?
嘉永5.5.28	近江(滋賀)	布屋仁兵衛・手代(2)	反物注文取り	柏屋清七	6/朔迄
嘉永5.9.4	出雲(島根)	布屋彦右衛門	太物卸売	下松町 油屋太作	9/2~8
嘉永5.10.10	出雲(島根)	大社佐々藤房太輔・手代	旦那廻り	小笠屋茂右衛門	10/28迄
嘉永5.12.14	近江(滋賀)	松屋宗兵衛	呉服大物類卸売	下松町 油屋太作	12/20迄
嘉永6.2.13	近江(滋賀) 大坂(大阪)	布屋彦右衛門 紀伊国屋卯兵衛	太物小間物商売	下松町 油屋太作	2/17迄
嘉永6.3.13	京都(京都)	弓師幸助	弓細工	福川町 野崎屋弥平次	当年中
嘉永6.7.16	松山(愛媛)	紺屋常助夫婦	紺屋業教え方	当町 幡部屋弥七	8/5迄
嘉永6.10.8	京都(京都)	雁金屋吉兵衛		当町 中村屋清九郎	10/14迄
"	出雲(島根)	社人佐々藤房太輔・手代(2)	旦那廻り	当町 鶴屋新吉	10/20迄
嘉永6.12.20	広島(広島)	檜皮師(2)	作事方御用	檜皮糺左衛門	?
安政元.3.14	近江(滋賀)	布屋仁兵衛手代(3)	反物注文取	柏屋清七	3/12~20
安政元.6.5	近江(滋賀)	布屋仁兵衛手代(2)	反物商売	柏屋清七	6/10迄
安政元.9.20	近江(滋賀)	松屋宗兵衛	呉服反物類商売	下松町 油屋龍吉	9/25迄
安政元.9.28	出雲(島根)	社人佐々藤房太輔(3)	旦那廻り	当町 鶴屋新吉	10/18迄
安政2.正.20	京都(京都)	富小路 備後屋治助(36歳)	道具商い	柏屋清七	12日以來病気のころ死亡
安政2.5.25	近江(滋賀)	松屋宗兵衛	夏物反物類卸売	下松町 油屋利吉	6月中
安政2.9.26	出雲(島根)	社人(2)	旦那廻り	当町 鶴屋新吉	10/5迄
安政2.11.19	近江(滋賀)	松屋宗兵衛	古物卸売	下松町 油屋利吉	11/22迄
安政3.3.21	近江(滋賀)	布屋彦右衛門	太物卸売	下松町 油屋栄藏	3/26迄
安政4.⑤.18	岡山(岡山)	島屋茂助夫婦・手代	櫛笄継磨	柏屋清七	⑤/25迄



年月日	出国地(現都道府県名)	長逗留者名(人数)	目的	逗留先	逗留期間
元治元.10.5	秋穂浦(山口)	藤九郎・藤屋丈吉	木具売	竹屋庄兵衛	10/朔~10
元治元.11.19	伊佐村(山口)	溝口屋治右衛門	薬種商売	竹屋庄兵衛	12/9迄
元治元.12.11	安芸(広島)	薬種売大杉屋彦助	(例年通り罷越)	(家中通路の免札)	?
慶応元.4.21	呼坂(山口)	河内屋要助	先年より御医師中へ薬卸売	(家中通路の免札)	?
慶応元.4.23	富山(富山)	松屋文右衛門手代(2)	薬種入替え	当町 椎木屋藤十郎	4/20~晦
慶応元.7.27	京都(京都)	備後屋常七	刃刀類商	当町 松屋政吉	8/2迄
慶応2.4.20	近江(滋賀)	神崎村 外村屋藤左衛門・同常次郎	布物商売	富海町 中屋善助	?
"	京都(京都)	御地富小路 久岡仁左衛門・手代	呉服持下り	入木屋磯七	?
慶応2.4.25	近江(滋賀)	愛智郡中宿村 小島屋武右衛門手代	布類商売	富海町 大和屋政助	?

領外長逗留者にみる近世社会(吉積)